

仕方塵劫記

小倉文庫

イ 16

108



門 116
號 9108
卷

中村先生著

新撰 仕方塵劫記 全

東京 回春樓藏版



昭和二十七年
六月二十一日
受入

仕方塵劫記序



此書は、^{かき}筆の^の者^を安^く導^くの^工更^{なる}に^は
^一時^に、^同格^となり^{。各}に^以解^ぶる^の心^をこ^めて
下^する^心は、^道に^入る^心と^もなり^{。童}と^も幼^き
を^導く^に、^若く^は解^きは^らぬ^も、^然る^に、^心を^こめ^て
先^ず、^心の^書の^事を^導く^に、^人一^度、^心を^こめ^て
己^の心^をこ^めて、^心の^心を^こめ^て
讀書^{する}に^返り、^心の^心を^こめ^て

〇大意

養知紀のころ世におかしき事ありしをかくの遺ひと皆此
よりのものなりけり此等の人まはるるをかくるはわづらひし
あはれひりしと云はるる事ありしをかくるはわづらひし
皆此等の人まはるるをかくるはわづらひしと云はるる事ありし
をかくるはわづらひしと云はるる事ありしと云はるる事ありし
いわけありし事ありしと云はるる事ありしと云はるる事ありし
志ざしひあひの事ありしと云はるる事ありしと云はるる事ありし
をかくるはわづらひしと云はるる事ありしと云はるる事ありし
養知紀のころ世におかしき事ありしをかくの遺ひと皆此

〇養知の経

養知紀のころ世におかしき事ありしをかくの遺ひと皆此

中ちいもまふくハ大切なる宝飾の事ありしをかくるはわづらひし
ありし事ありしと云はるる事ありしと云はるる事ありし
早通あり唐古のころありし事ありしと云はるる事ありし
けころ吳人持渡りのころありし事ありしと云はるる事ありし
けころ日本の人氣のころありし事ありしと云はるる事ありし
その判しがわづらひしと云はるる事ありしと云はるる事ありし

〇同安の事

同安と云ふは小玉の事ありし事ありしと云はるる事ありし
右・町ちいもまふくハ大切なる宝飾の事ありしをかくるはわづらひし
本の同安の事ありし事ありしと云はるる事ありしと云はるる事ありし
さてたたとえをかくるはわづらひしと云はるる事ありしと云はるる事ありし
人はあはれはるる事ありしと云はるる事ありしと云はるる事ありし

はるたりの合帳をばつてなぐねかうあはれしこすい小卒の
毎日を細帳に書きおろす人の下の書は法舟上の目安の毎りと
下の小卒とあきぬのちがらわかうあはれしこすい

づきも▲はるある所よりみちがらあり

但しあうつりしこすいちがら安きゆへ本の志とつりものを
あてて一さまづてせべー

○かり玉とあきぬの税

八重の内七の税はかり玉として志事ひは宮に書する本あり是は刻金にて
志事ひの柳より掛らぬゆえと志事ひを理ふ掛るあのかへりのこととての本
ひは刻金にて志事ひの志事人とあきぬかへりかへりかへりかへりかへりかへり
あかり玉とあきぬと法とすりかへりかへりかへりかへりかへりかへりかへり
五あきぬと六とてはるあかり玉とあきぬかへりかへりかへりかへりかへりかへり

とけいまいふかり玉とあきぬあはれしこすいかへりかへりかへりかへりかへりかへり
凡方也あも刻金にて志事ひを理ふ掛るあのかへりのこととての本
理あきぬ刻金にて志事ひを理ふ掛るあのかへりのこととての本
あはれしこすいあはれしこすいあはれしこすいあはれしこすいあはれしこすい
志事ひとあきぬと法とすりかへりかへりかへりかへりかへりかへりかへり
志事ひとあきぬと法とすりかへりかへりかへりかへりかへりかへりかへり

○聖毛用捨のしり

刻掛りの小余りのありしりあはれしこすいあはれしこすいあはれしこすいあはれしこすい
毎日を志事ひの肝要とて志事ひとあきぬとあきぬとあきぬとあきぬとあきぬと
志事ひとあきぬとあきぬとあきぬとあきぬとあきぬとあきぬとあきぬとあきぬと
志事ひとあきぬとあきぬとあきぬとあきぬとあきぬとあきぬとあきぬとあきぬと

但し刻後志事ひ何トも捨りし又刻集りあはれしこすい
あはれしこすいあはれしこすいあはれしこすいあはれしこすいあはれしこすい

二の段割詞

八進が四十 二二天作の五

八進が四十

六進が三十 二二天作の五

六進が三十

四進が二十 二二天作の五

四進が二十

二進が一十 二二天作の五

二進が一十

▲二二天作の五

達二進二十ニあるて
十よりむらんとする

同掛詞

▲二五十一

二四八

二九十八

二三が六

二八十六

二二が四

二七十四

一二が二

二六十二

三の段割詞

三二六十の二

かくのどくわいんぶろよあうら
このうちよあまこまうととあん

九進が三十

九進が三十

六進が二十 三二三十の二

六進が二十

六進が二十

三進が一十 三二三十の一

三進が一十

三進が一十

▲三二三十の一

同掛詞

▲三三が九

三六十八

二三が六

二三が六

三五十五

一三が三

一三が三

三四十二

四の段割詞

四二天作の五
 八進が二十 四二二十の二
 八進が二十 四二天作の五
 四進が二十 四三七十の二
 八進が二十
 四進が二十 四二二十の二
 四進が二十 四二天作の五
 四三七十の二
 四進が二十
 四二二十の二

同掛詞

▲四五二十
 二四八子二たその十
 四七二十八
 四九三十六
 一四が四
 四四十六
 四六二十四
 四八三十二
 三四十二

五の段割詞

五進が二十 五四倍八
 五進が二十 五三倍六
 五進が二十 五二倍四
 五進が二十 五一倍二
 五進が二十
 五四倍八
 五三倍六
 五二倍四
 五一倍二
 ▲五一倍二 五二倍為二と書しよ

同掛詞

▲五八四十
 五七三十五
 五五二十五
 三五十五
 一五が五
 五九四十五
 五六三十
 四五二十
 二五十

六の段割詞

六二三十の二 六五八十の二
 六進が一十 六三天作の五
 六進が一十 六進が一十
 六進が一十 六一加下四
 六進が一十
 六進が一十 六三天作の五
 六四六十の四
 六三天作の五
 六進が一十
 ▲六一加下四

同掛詞

▲五六三十
 一六が六
 三六十八
 一六が六
 六六三十六
 六七四十二
 五六三十
 二六十二

七の段割詞

七三四十の二 七六八十の四
 七進が二十 七進が十七 七二加下三
 七進が一十 七二加下六
 七進が一十 七五七十の二
 七進が一十 七四五十五
 七進が一十 七四五十五
 七進が一十 七二加下六
 七四五十五
 七五七十の二
 ▲七一加下三

同掛詞

▲一七よ三たよの十
 四七二十八
 七八五十六
 六七四十二
 六七四十二
 三七二十一
 六七四十二
 七七四十九よ二たよの十
 一七よ三たよの十

八の段割詞

八四天作の五
 八二加下四
 八進が一十 八五六十の二
 八進が一十 八六七十の四
 八七八十の六
 八進が一十
 八進が一十 八一加下二
 八進が一十 八二加下四
 八三加下六
 八四天作の五
 ▲八一加下二

同掛詞

▲五八四十
 二八十六よ四たきの十
 六八四十八よ二たきの十
 八八六十四
 八九七十二
 二八十六
 三八二十四
 四八三十二
 五八四十
 一八よ二たきの十

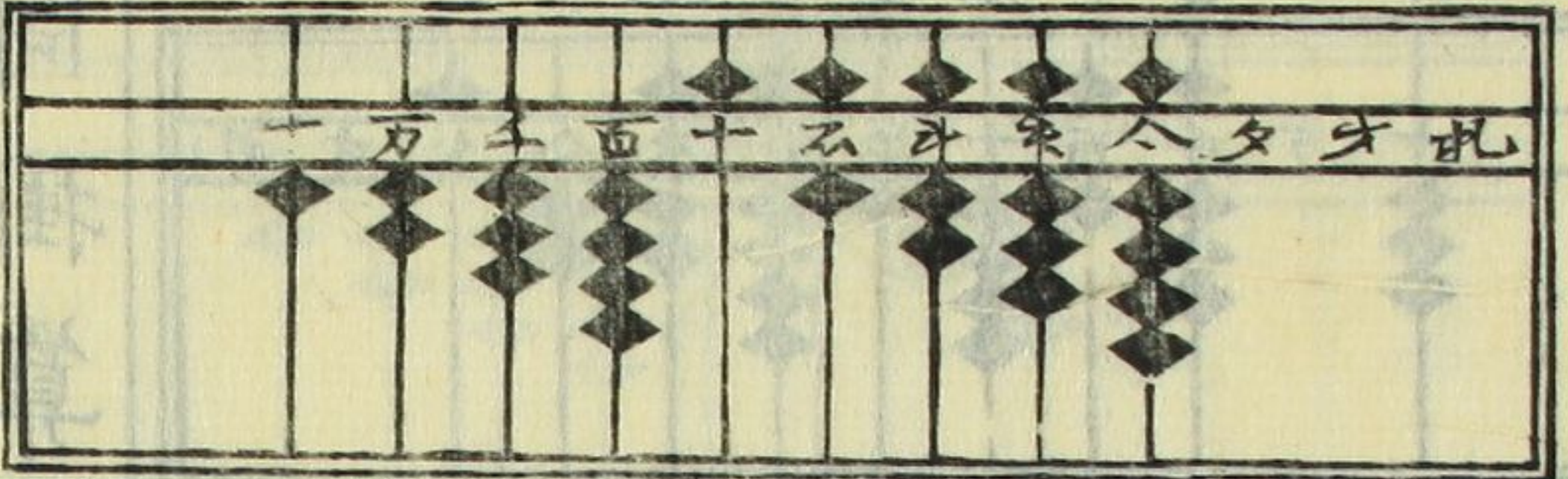
九の段割詞

九二加下二 九四加下四 九六加下六 九七加下七 九八加下八
 九進が一十
 九進が一十 九一加下一
 九進が一十 九三加下三
 九六加下六
 九進が一十 九一加下一
 九六加下六
 九三加下三
 ▲九一加下一

同掛詞

▲一九が九
 二九十八
 四九三十六
 七九六十三
 一九よ一たきの十
 七九六十三
 三九二十七よ三たきの十
 一九よ一たきの十

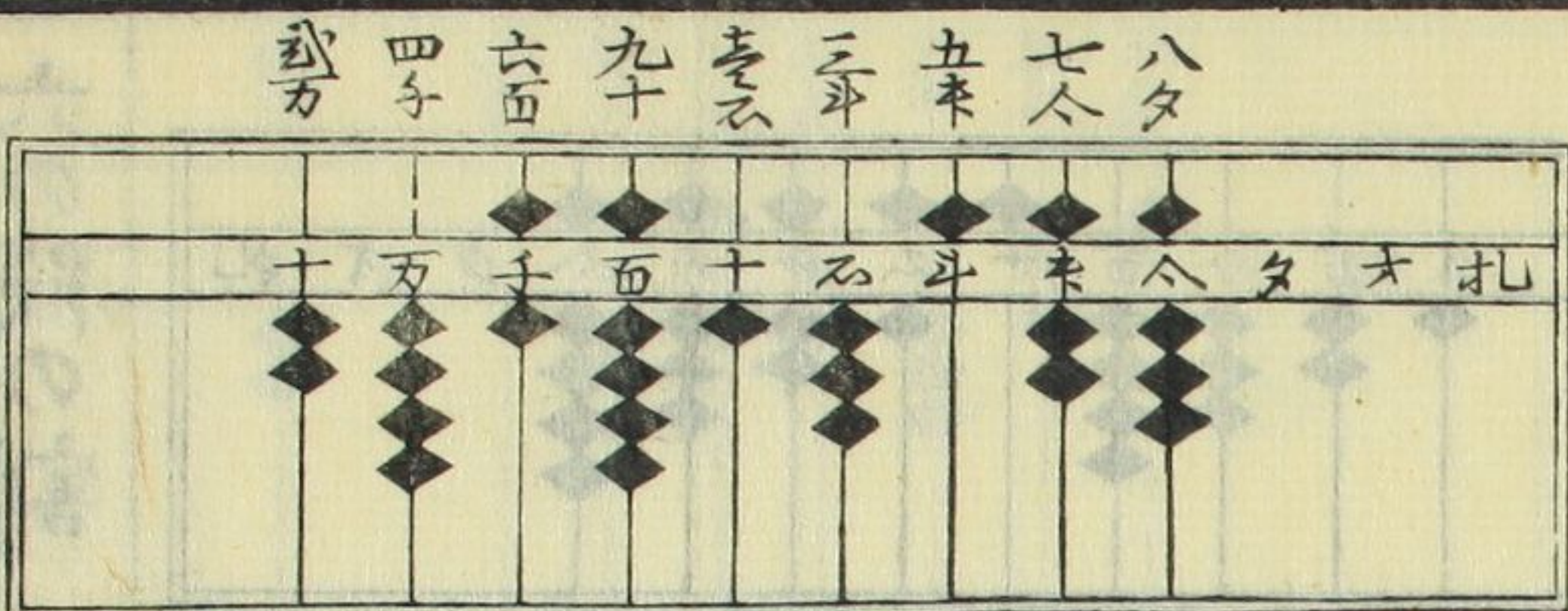
五の段の割



とらひあり

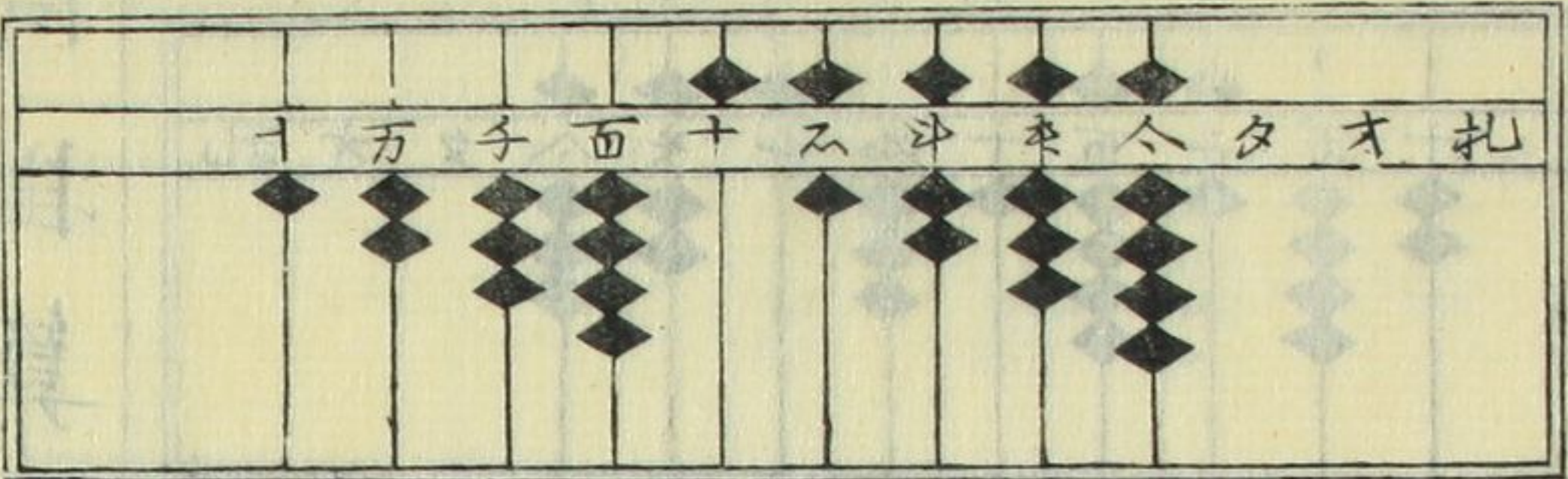
上の五をさしひく珠の下の二を加へ五倍八の下の五をさし
 ぶ五倍六珠の下の五をさし下とらひ五倍二十の
 下とらひ珠の下の五をさしひく珠の下の五をさし下の五をさし
 らひく珠の下の二を加へ五倍十の下の二を加へ五倍が
 る五倍二の下の二を加へ五倍二十と珠の下の五をさ
 しとらひ五倍が二十と珠の下の五をさしひく珠の下の五を
 五をさし下とらひ五倍が二十と十の五をさしひく珠の下の
 五倍十の下の五をさし下とらひ五倍八の下の五を
 ▲五倍二十の下の二を加へ五倍は万の下の二を加へ
 二斗五斗七合八匁也
 ○算の同術△五の割△武万に子六百九十をさる
 △五の合る

同掛算



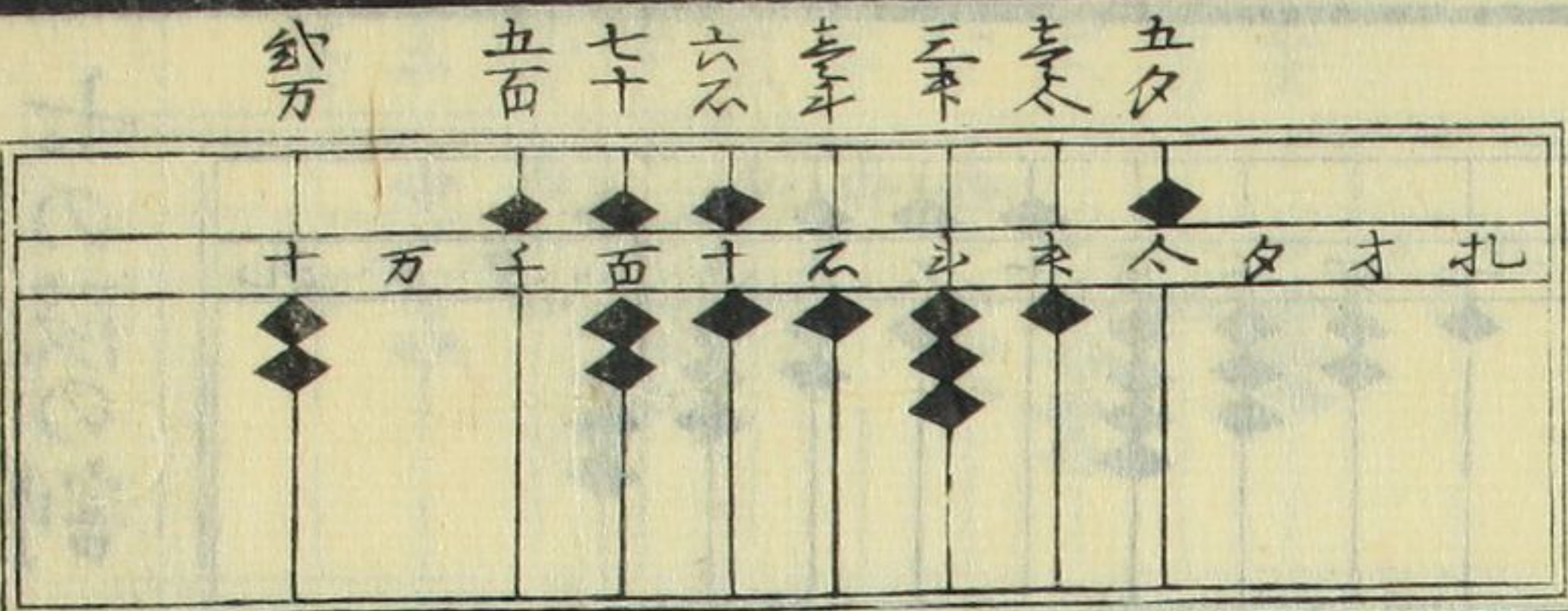
○算武万に子六百九十をさる二斗五斗七合八匁
 △五の合る
 ▲五八に十の下の五をさし下二を加へ五七三十
 五珠の下の五をさし下二を加へ八の下の五をさし五
 五二十五斗の五をさし下二を加へ五珠の下の五をさし五
 五十五の下の二を加へ珠の下の五をさし一五か五十の二を
 をらひく珠の下の五をさし五九に十五の下の五をさし下
 の下の五をさし五五二十の下の五をさし下二を加へは
 五二十万の下の二を加へ二五十十の下の二を加へ

六の段の割



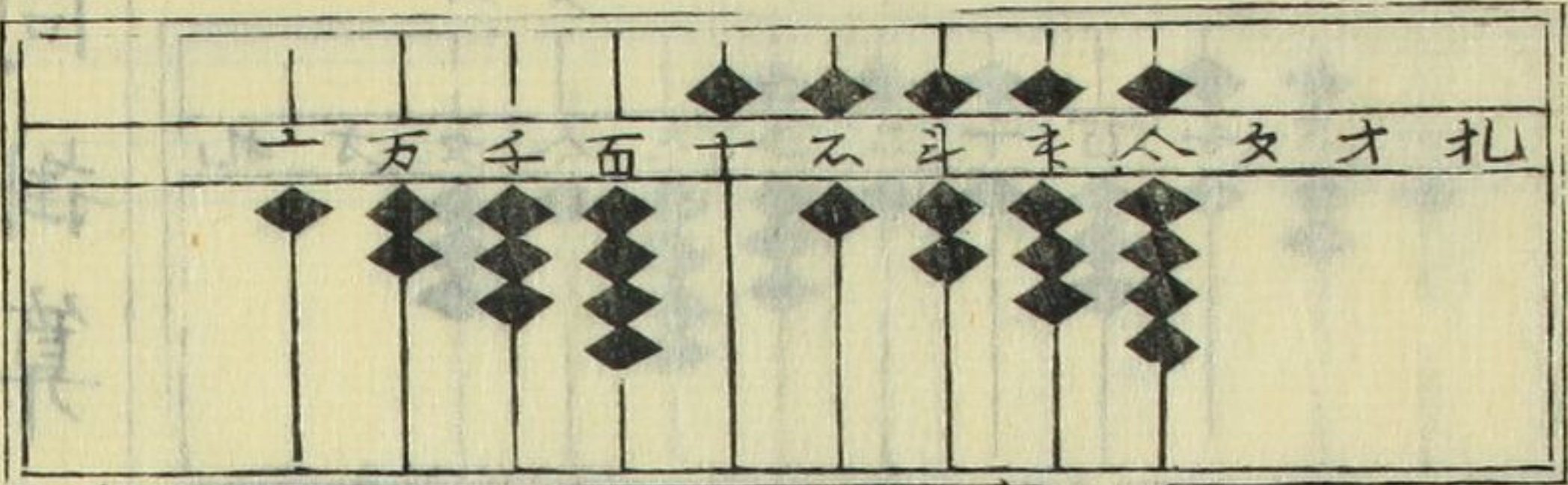
一 一の下の二を多し六に天作の五の二を多しひ上(五)を多し
 ひ斗の下(二)を多し六進が二十と一の上の五を多しひ下(二)と
 十と下(二)の二の下の二を多し六進が二十と上(十)を多し
 六加下(二)の二の下の二を多し六進が二十と上(十)を多し
 六進が二十斗の上の五を多しひ下(二)と一の下の二を多し
 上(五)を多し六進が二十の下の二を多しひ下(二)と一の下の二を多し
 ひ下(二)と一の下の二を多し六進が二十と上(十)を多し
 下(二)と一の下の二を多し六進が二十と上(十)を多し
 一の二を多しひ上(五)を多し六進が二十と上の五を多し
 進が二十と上(十)を多しひ下(二)と一の下の二を多し六進天作の五
 十六加下(二)の二の下の二を多し六進が二十と上(十)を多し
 二本を合五七六なり
 〇 宋式同前△六の割△式方〇五百七十六を多し斗二本を合五七六△六の合多

同掛算



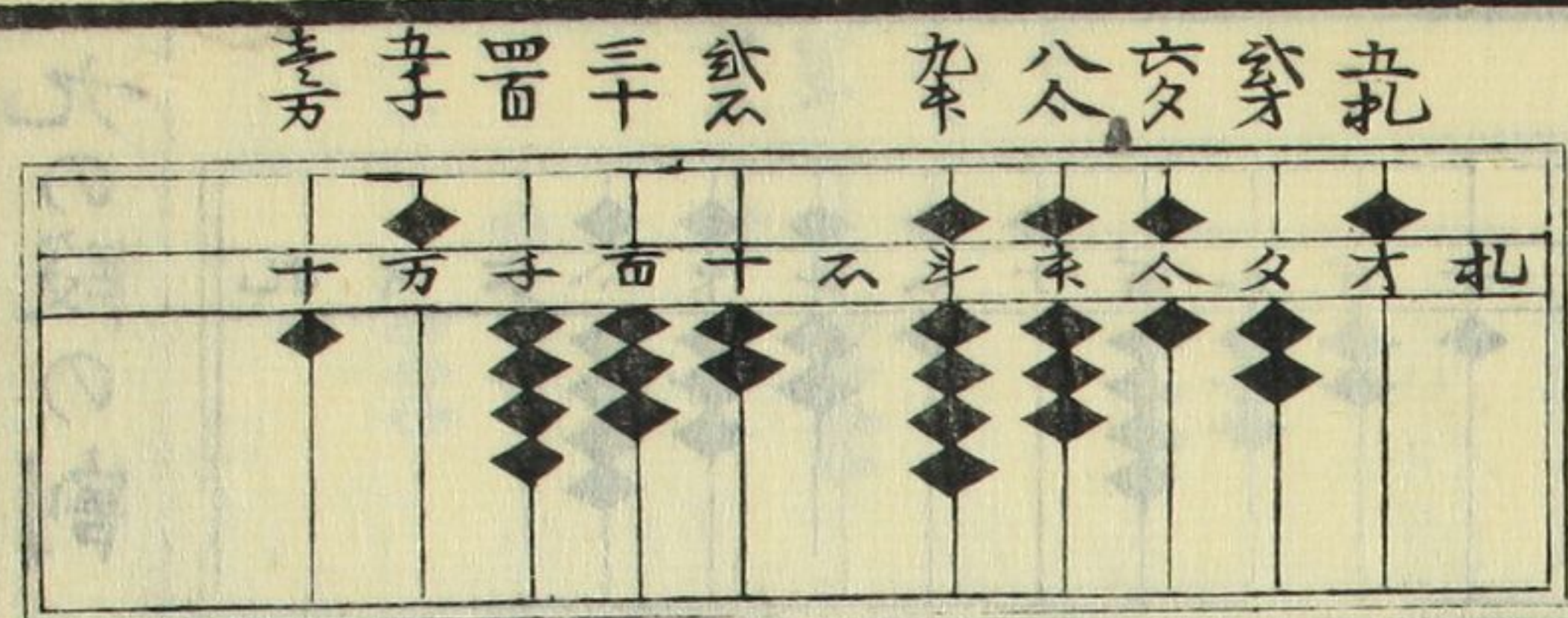
〇 宋式方〇五百七十六を多し斗二本を合五七六△六の合多
 ▲五六二十人の五を多しひ下(二)を多し一六が六の二を多し
 らひ一の下の二を多し下(二)を多し二六十八の下の二を多し一の
 上(五)を多し下(二)を多し一六が六の二を多しひ斗の上(五)を多し
 下(二)を多し六二十六十の下の五を多しひ下(二)を多し一の下の
 五を多し下(二)を多し一七十四十二の下の五を多しひ下(二)を多し
 十の上(五)を多し下の二を多し五十三斗の五を多しひ下(二)を多し
 二を多し二六十二十の下の二を多し一の下の二を多し
 附 世に抄る塵劫記は七の後はかゝ玉と云ふて七の後はかゝ玉と云ふ
 七進が二十と上の五を多しひ下(二)と一の下の二を多し七
 六の下の二を多し七進が二十と下(二)の二の下の二を多し
 一加下(二)の二の下の二を多し
 七進が二十と上の五を多しひ下(二)と一の下の二を多し七
 六の下の二を多し七進が二十と下(二)の二の下の二を多し

八の段の割



ちのひよ五とまきちち
 きよひ八加下のりく[○]才の下のりく[○]ちのひよ[○]八四天作のち
^ひ才の下のり[○]八五六十のち[○]の下のり[○]才の下のり[○]八
 加[○]今の[○]八加下のり[○]八十九ある[○]八加下二十と下のり[○]八
 八加下二十と下のり[○]才の下のり[○]八六七十のち[○]本の下のり[○]
 八加[○]八十八のち[○]本の下のり[○]八加[○]本の下のり[○]八十九ある[○]
^て本の下のり[○]八加[○]かき[○]八加下二十と下のり[○]才の下のり[○]
 上のり[○]五とまらひ[○]下のり[○]十の下のり[○]十[○]八加下二十と
 と加[○]本の下のり[○]八加[○]下のり[○]十の下のり[○]八加[○]二十と
 一の加[○]かき[○]八加[○]二十と上のり[○]五とまらひ[○]下のり[○]才の下のり[○]
 ちのひよ[○]五とまらひ[○]下のり[○]十の下のり[○]十[○]五とまらひ[○]下
[▲]十八加下[○]このり[○]才の下のり[○]八加[○]かき[○]八加[○]天作の五と
 本八合六才五札
 ○米き方五子四百二十或る。九本八合六才
 式才五札△八合る

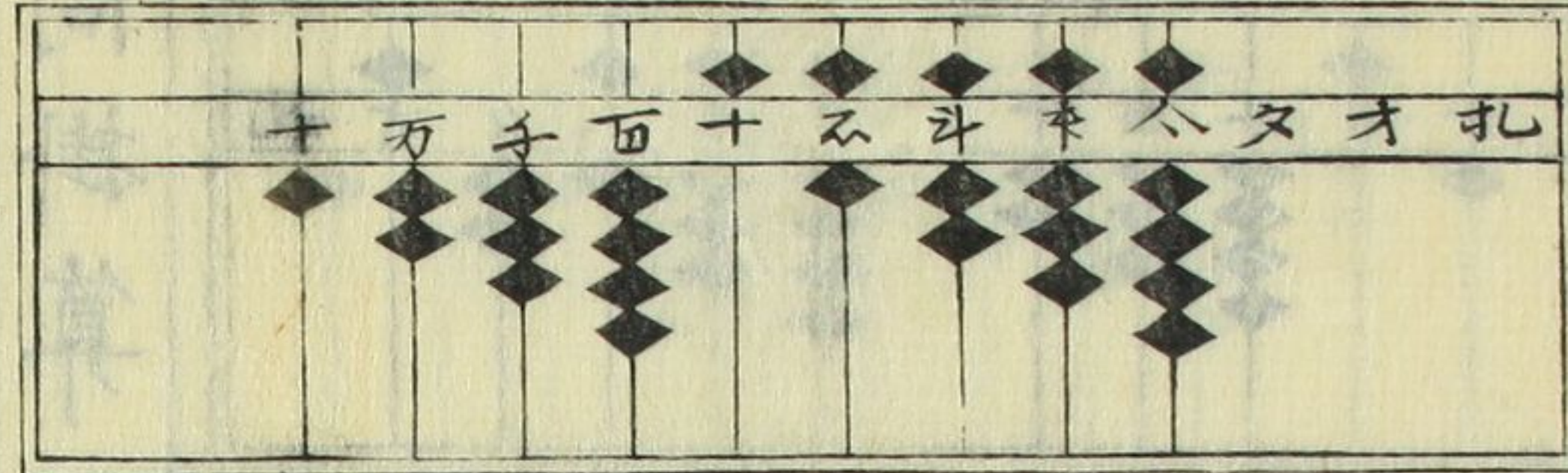
同掛算



○米き方五子四百二十或る。九本八合六才
 式才五札△八合る

▲五八四十才の五をちのひよ下にり[○]二八十六はたまを
 の十才の下のり[○]才の下のり[○]八の下のり[○]八の下のり[○]八
 十八[○]二た[○]の十[○]才の五をちのひよ下にり[○]三加[○]才の下のり[○]八
 の上のり[○]五とまらひ[○]下のり[○]八[○]八[○]十[○]才の下のり[○]二[○]一の下のり[○]
 とまらひ[○]八[○]九[○]七[○]二[○]才の下のり[○]二[○]一の下のり[○]二[○]八[○]十[○]才の
 下のり[○]二[○]一の下のり[○]五[○]とまらひ[○]下のり[○]三[○]八[○]二[○]才の下のり[○]二[○]一の
 上のり[○]五とまらひ[○]下のり[○]八[○]三[○]二[○]才の下のり[○]二[○]一の下のり[○]二[○]
 五八[○]十[○]才の五をちのひよ下にり[○]八[○]七[○]二[○]才の下のり[○]十[○]の
 ちのひよ[○]才の下のり[○]二[○]一の下のり[○]二[○]一の下のり[○]

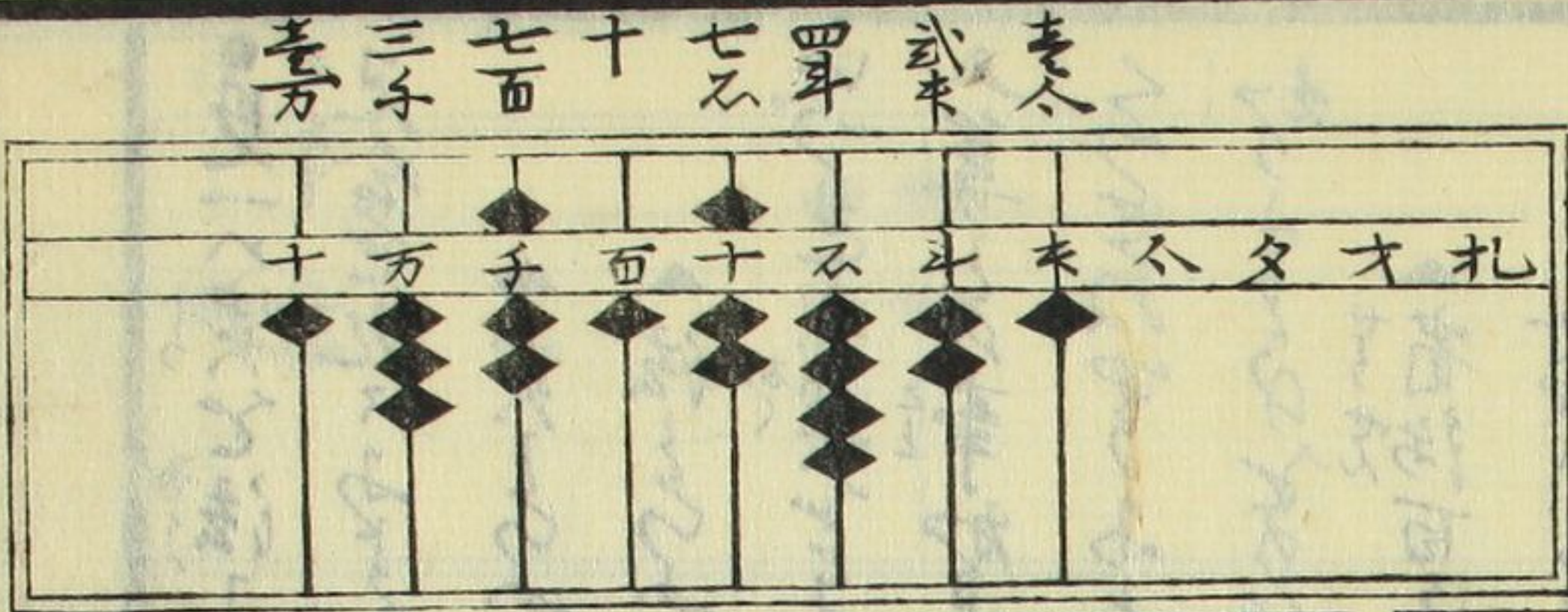
九の段の割



斗式本を合し

○ 九の上下を合し 札の下二と合し
 斗の上下を合し 札の下二と合し
 十と上の五と合し 斗の下二と合し 九進が二十
 下と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 二と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 十と上の五と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 九六加下六と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 引 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 五と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 十の上下五と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 十九加下一と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し

同掛算



△ 九の合

○ 九の上下を合し 札の下二と合し
 斗の上下を合し 札の下二と合し
 十と上の五と合し 斗の下二と合し 九進が二十
 下と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 二と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 十と上の五と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 九六加下六と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 引 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 五と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 十の上下五と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し
 十九加下一と合し 斗の下二と合し 九進が二十と上の五と合し

○見一理方のたえ

●見一八実と法と割との目よりなる実の教と法の二樹目の教と
 見合を九々あまびくくはあり

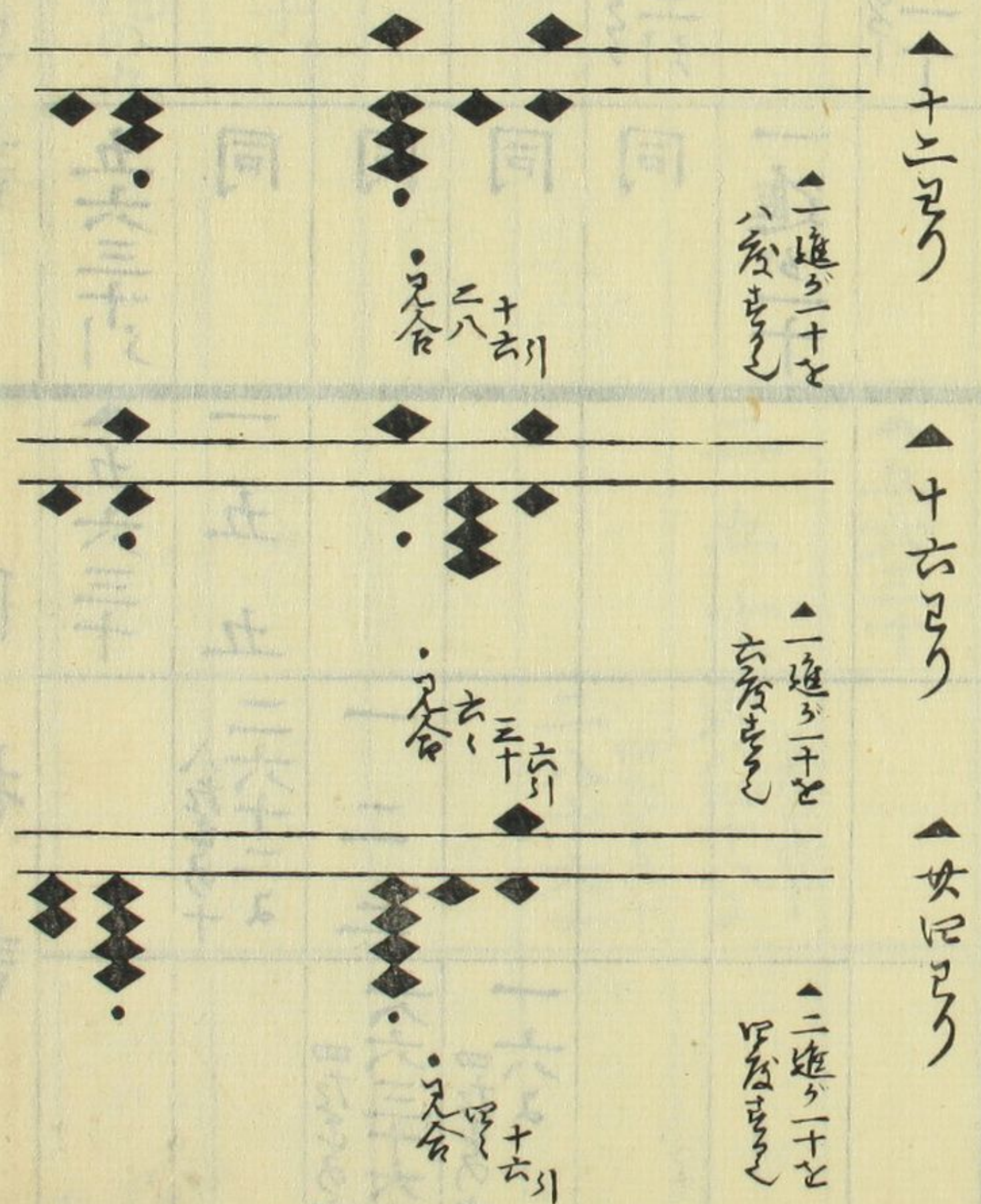
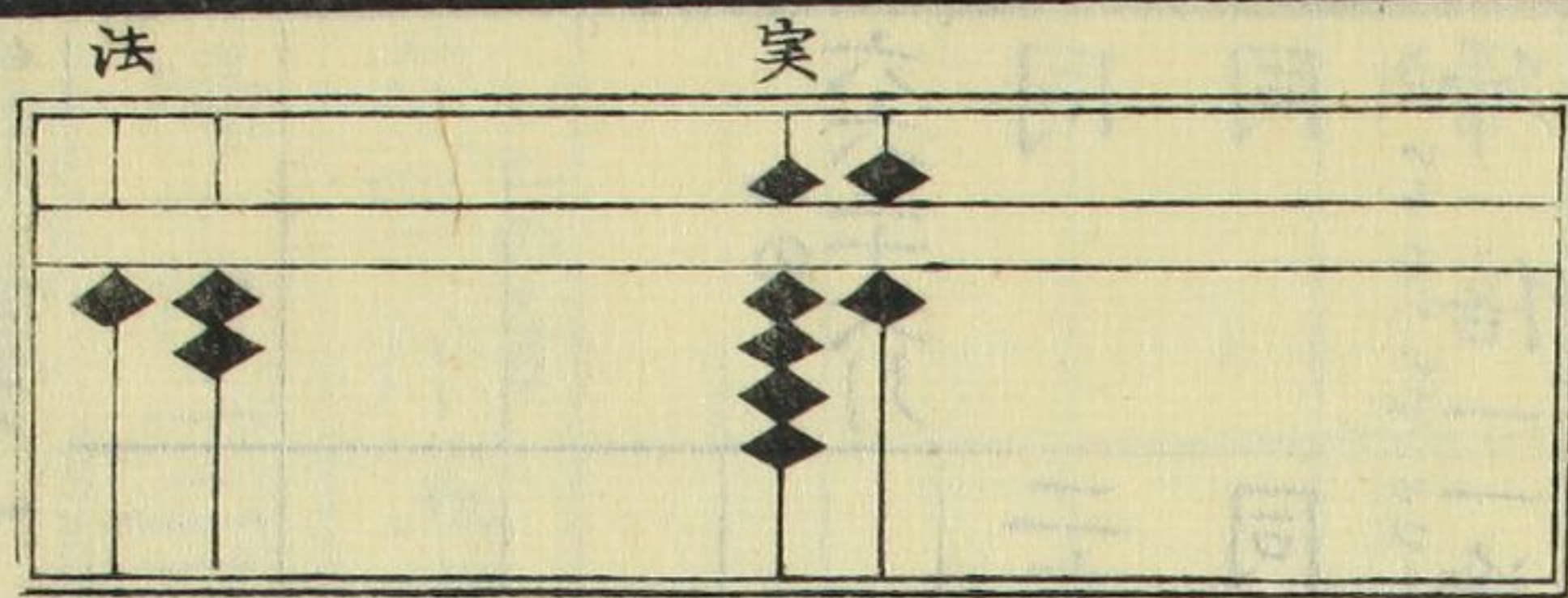
▲実とのふいおふ並目うかけはまき物と言をふ

▲法とのふいおふ並目うかけはまき教といふ

いづれも算とてけいさすはむとらうおぼゆるあれども
 八算とて事かまうて取附あつていふも手かろくでまうた
 らせぬやうあとのむらう算氣ある者の絶續とわらう見よ
 知らうのよめりてその理方を志めよ

▲省法百文・九十六文と並・十二より八文が・十六より六文が

廿五より四文がといは理方のことあつて見の短く短付たそく
 ちあべー



見五の割詞

▲五三不六		六八平介					
	見五の五 他九の五	九七五 七 三	二 三	六 六	四 四		
		五倍八	六 六	六 六	五 五		
			五進十	五進十	五八平介		
			五二倍四	五二倍四	五八平介		
				五九二五	▲五八平		
				五八四十	四 四		
				五九平五	六 六		
					八 七		
					六 六		
					五 六		

同掛詞

見六の割詞

▲見六の六 作九の六	一九三 一 の	七九六十三 三	五九四十五 三				
	六五八十 の二	一八三 二 の	七八五十六 六 の	五八四十 三			
		六三天他 の五	六進二十	一六三 四 の	五六三十 三		
			六六三十六	一六三 四 の	▲五六三十		
		六八四十 二 の	一八三 二 の	七八五十六 六 の	五八四十		
	六九五十四 六 の	一九 一 の	七九六十三 三	五九四十五 五			

同掛詞

見七の割詞

▲七三平 の二		四五二 川					
	七六八 の四	七進 が十		五九四 五 川			
		七進 が十	七六八 の四	五九四 五 川			
		七進 が十	七四五 五	七進 が十	五六三 川		
				六七四 二		▲五六三 十	
			七九六 三	五九四 五			
		七九六 三		五九四 五			
	四七二 の十			四五二 十			

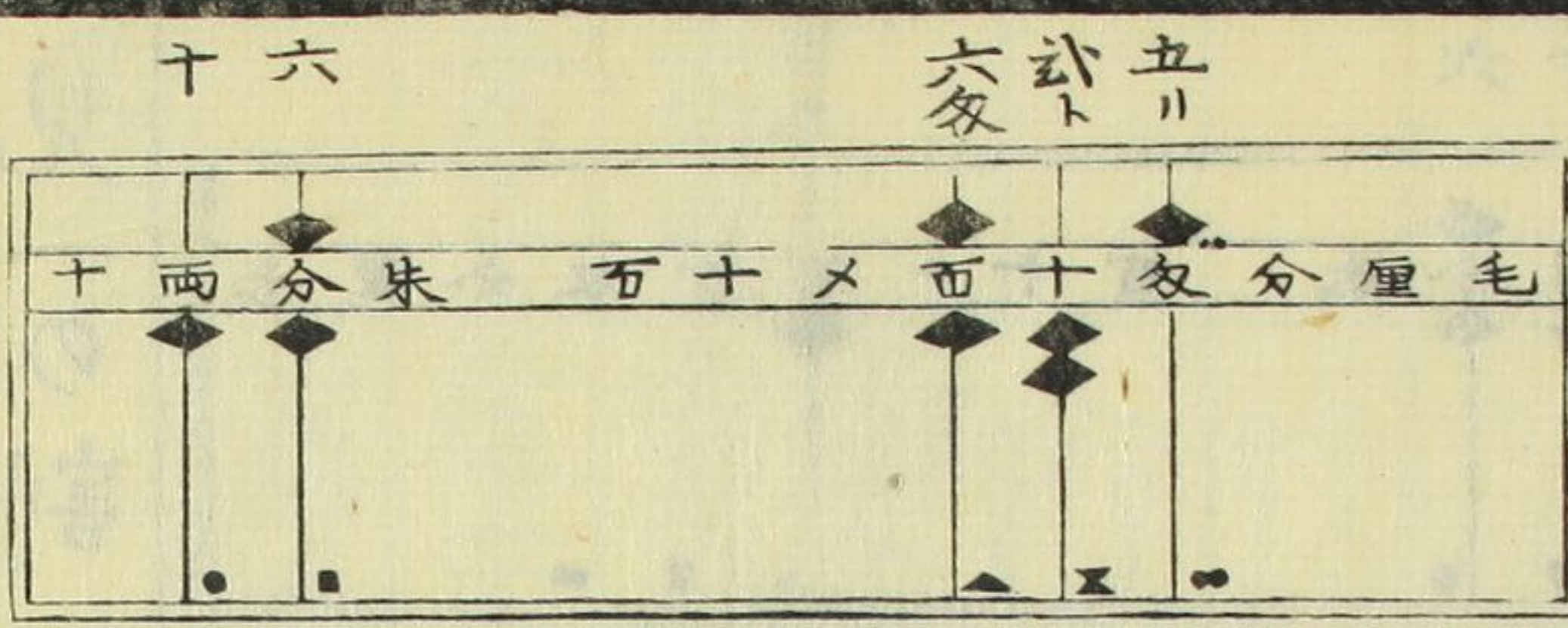
同掛詞

見八の割詞

▲見八 作九 の八	六九五 五 川	五の ころ					
	八七八 の六	六四 介 の二	五八 川				
		六七 の四	六七 川	六七 川			
		八五 の二	六三 川	六三 川			
			六六 川	▲五六 三 十			
		七八 の十	六七 川	五七 三 五			
		八六 の十	六四 川	五八 四 十			
	八九 七 二	六九 五 四					

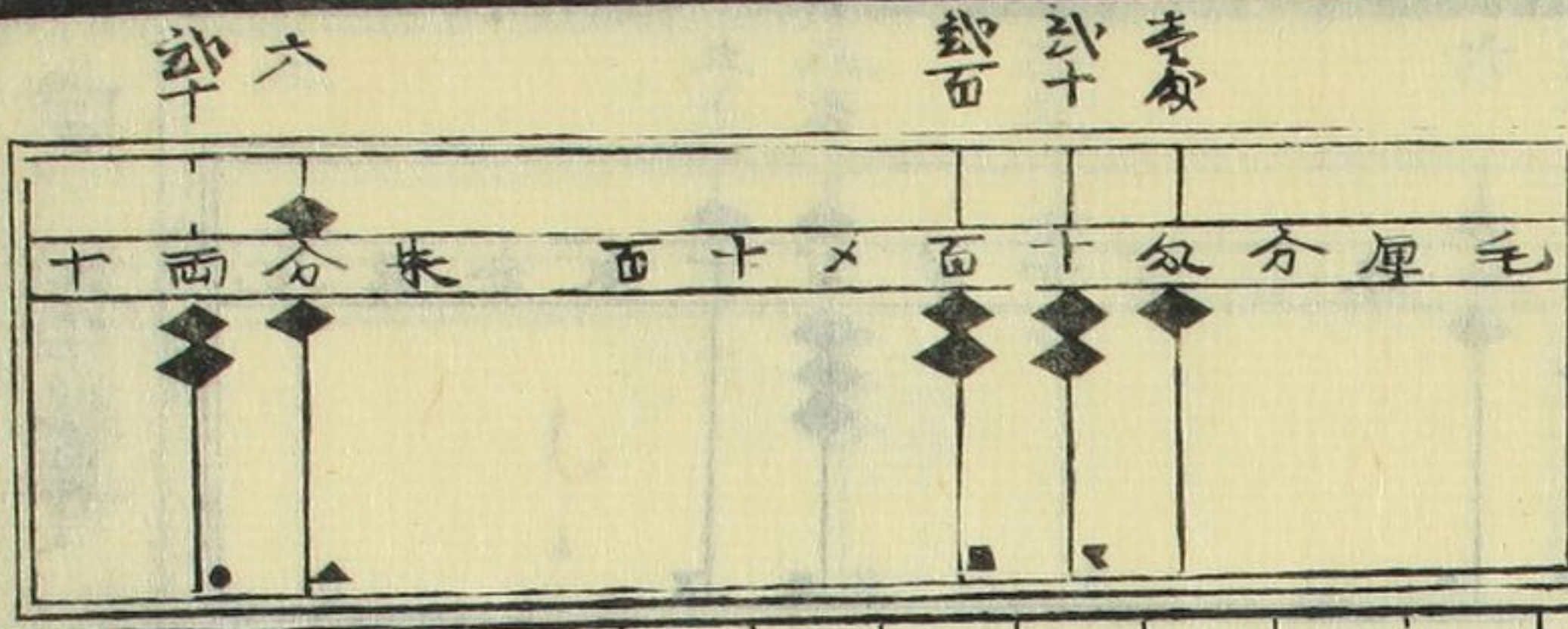
同掛詞

同掛算



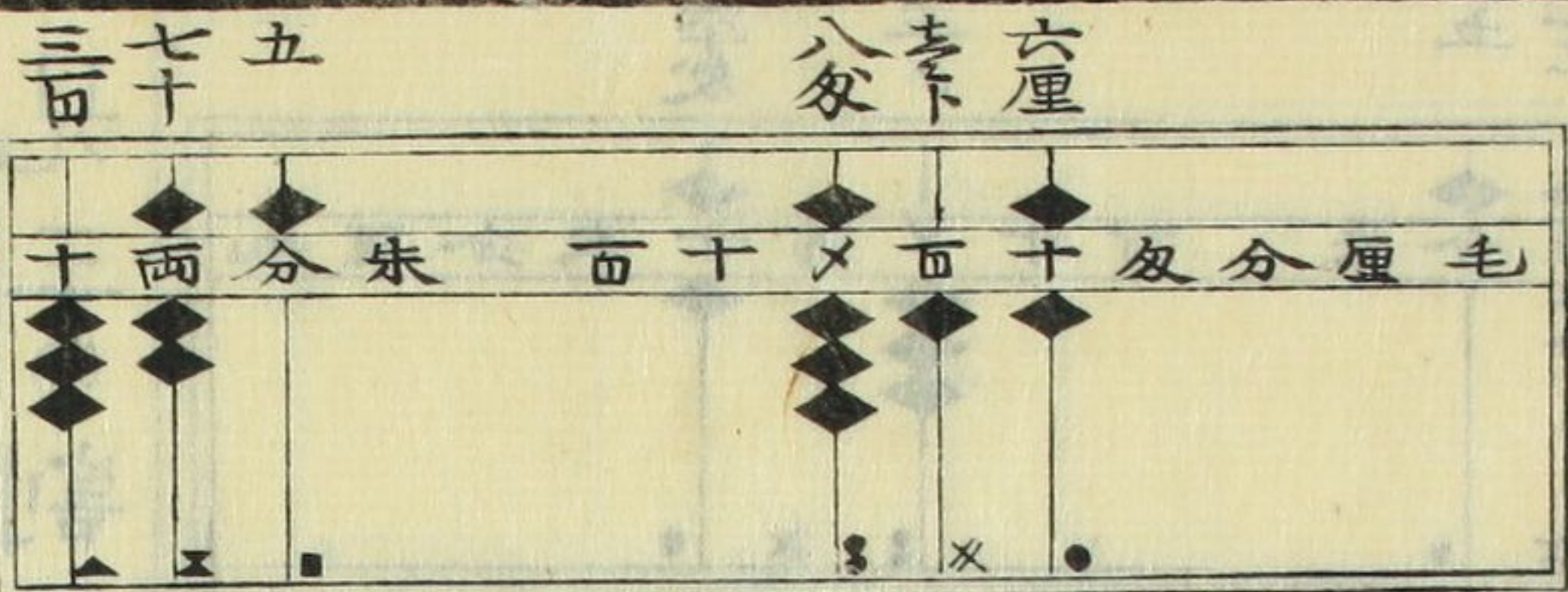
○銀六匁貳分五厘△十六合バ△百匁なり
 ▲五六二十分の下(二)とさき。一五が五匁の五とさき
 分の上(五)とさき。二六十は八たきの十匁の下(一)とさき
 分の上(十)とさき。ひの下の下(一)とさき。一こが二十のこ
 とさき。ひの下の下(二)とさき。二六十三は四たき。十
 十の下(二)とさき。匁の四とさき。ひの十の下(二)とさき。一
 六は四たきの十。十の上(十)とさき。ひの十の五とさき。ひの
 の下(一)とさきとあり

見二の割



六三十三(一)の二とさきとあり
 二とさき。二天他の五(十)の二とさき。ひ上(五)とさき。五
 二(一)六八四十八(一)の二(十)の五とさき。ひの下の下
 下(二)とさき。一倍(二)の下(一)とさき。十の上(五)とさき。下
 ▲見二を以他九の二(百)の上(五)とさき。下(二)とさき。十の
 ○銀貳百匁十き。分△貳十六は割△八匁五をり

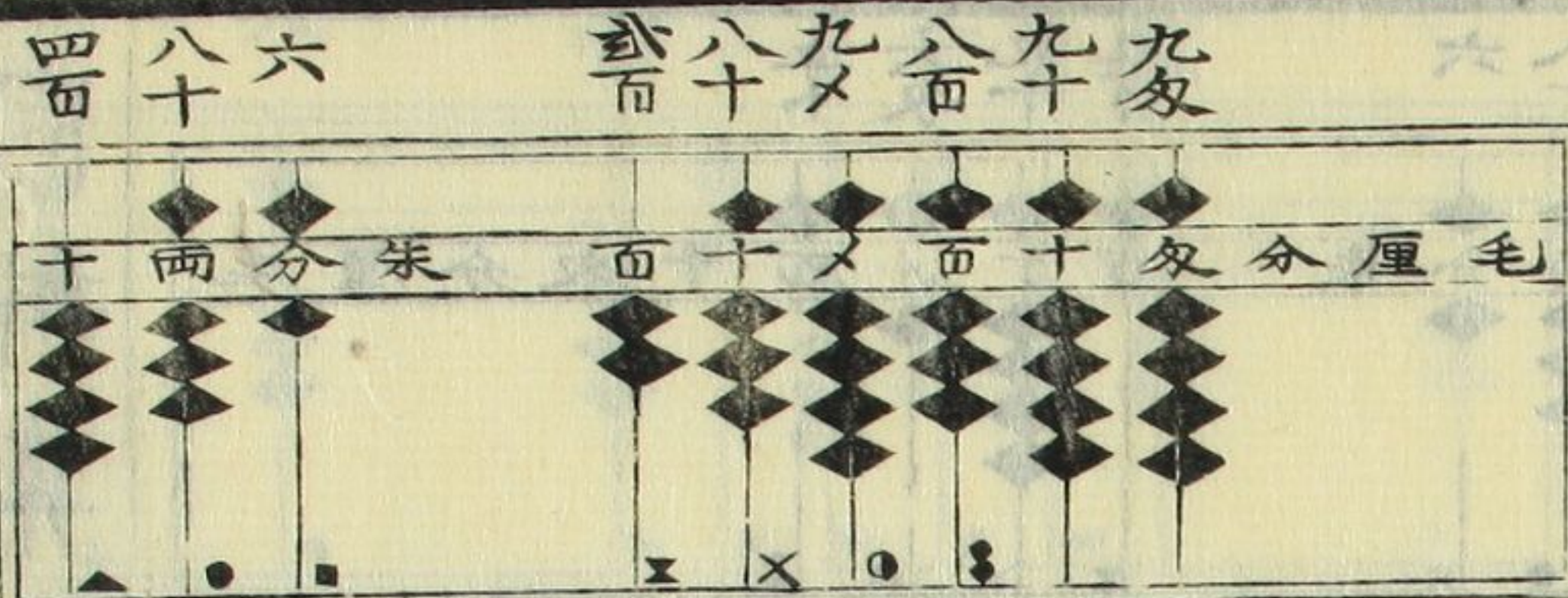
同掛算



○銀八匁五厘分六厘△三百七十五合バ△二匁六十分
分

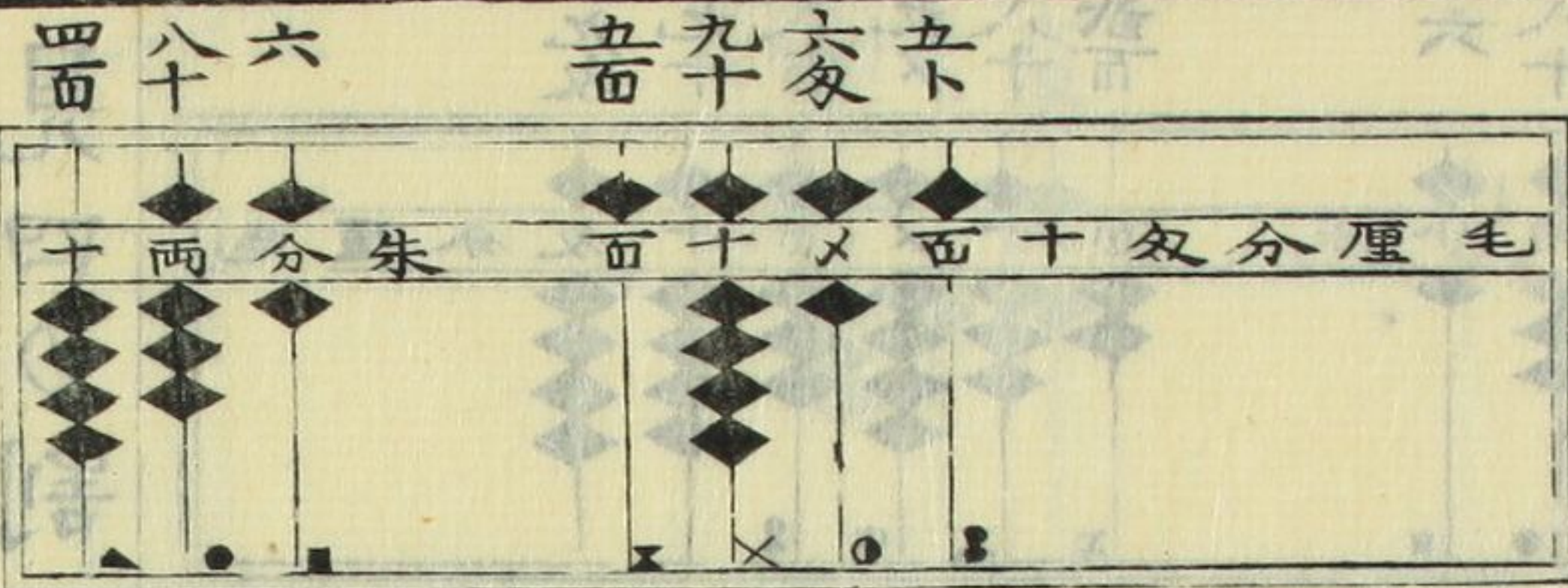
▲五十二十分の下(二)とまゝ。六十七四十二分の下(四)とまゝ
 分の上(五)とまゝ下の(二)とまゝ。三六十八はたまたまの(十)の五
 とまゝ。ひ(五)の下(二)と(一)の(十)の下(二)と加る。一五よ五たまたまの十
 分の五とまゝ。ひ(五)の下(二)と加る。一七よ七たまたまの十分の三
 とまゝ。ひ(十)の下(二)と加る。二二が二面の(一)とまゝ。ひ(十)の下
 と(二)と(一)上(五)とまゝ。五八四(十)の下(四)と加る。七八五十六は
 四たまたまの(十)の上(五)とまゝ。十の下(二)と(一)面の(十)の下(二)とまゝ。
 二八二十四よ六たまたまの(十)の五とまゝ。ひ(下)と(一)面の
 の(下)とまゝ。ひ(十)の下(二)と加る。

見四の割



とまゝ。ひ(五)二十(分)の(二)とまゝ。ひ(一)
 引(二)天他の(五)面の(二)とまゝ。ひ(上)五とまゝ。五八四(十)の(二)
 る。六六三十六(十)の五とまゝ。ひ(下)二と加る。八の五とまゝ。ひ(下)と(一)
 下(二)と(一)の(六)八(十)の(二)の(五)とまゝ。ひ(十)の下(二)とまゝ。
 と(一)面の(下)と(一)と加る。一倍(四)の(下)と(一)面の(上)五とまゝ。
 五とまゝ。ひ(十)の下(四)とまゝ。ひ(三)七十の(二)の(上)五とまゝ。下
 の(上)五とまゝ。ひ(下)と(二)の(一)面の(下)と(一)の(六)九(十)の(一)面
 の(五)とまゝ。ひ(十)の上(五)とまゝ。ひ(下)四と加る。八九七十二(一)
 上の五とまゝ。ひ(下)二と加る。五六二十(一)の(下)と(三)の(一)見(四)
 二天他の(五)面の(二)とまゝ。ひ(上)五とまゝ。五八四(十)の
 △五百九十六分五分
 ○銀貳百八十九匁八分九厘△四百八十六は割

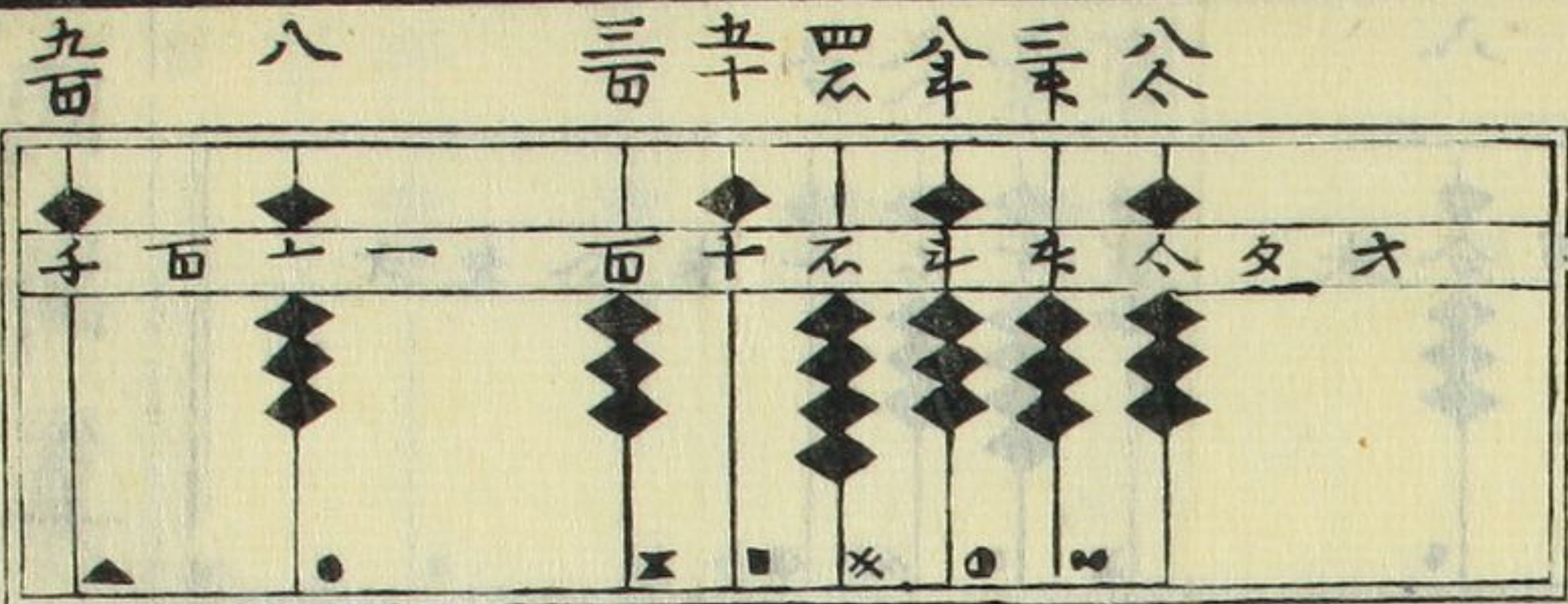
同掛算



○銀五百九十六匁五分△四百八十六匁△貳百八十九匁
八百九十九匁

▲五六十の下の二を三に五八四十の下の四を五に五
二十の五を三にひ下二に三を二に三二十六十の上五を三下を
二に引分の上五を三下二を加ふ六八四十八は二たきの十の上五
を三下二に三十の下の二を三にひ下の二を加ふ四六二十四はたき
の十の五を三にひ下二に加ふ上の五を三にひ下二に三に
の下の二を加ふ六九五十四の上下五を三十の下の四を三に八九七十二
の上下五を三下二に加ふ下の二を加ふ四九二十六はたきの十
十の五を三にひ下二に三に引分の下を三に引十の下の二を加ふ五三
十の下の二を加ふ五八四十の上五を三下二に三に引分五二十の
五を三にひ下二に三に引分

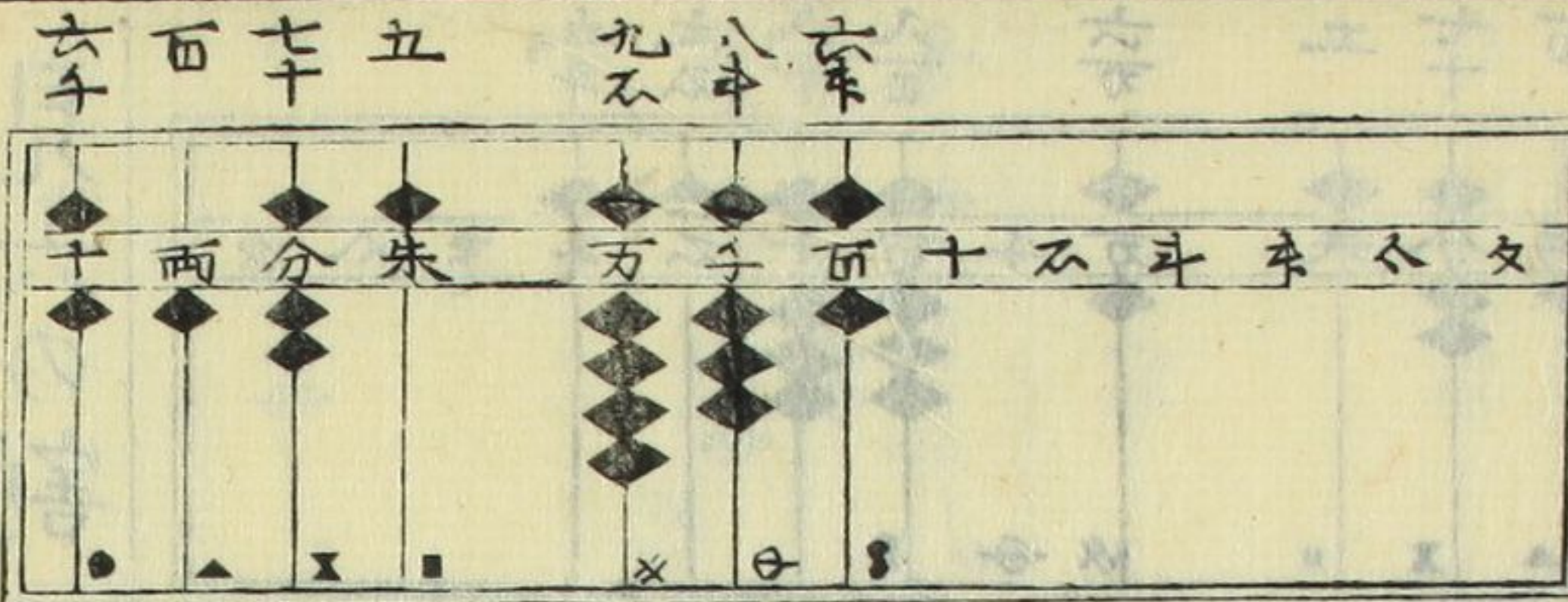
見五の割



よ五を三に五八四十の下の二を加ふ
倍の下の二を加ふ五三が二十の五を三にひ下の二を加ふ
一の下の五を三下二に三に引分の下の二を加ふ
五下二に三に引分八八六十はたきの十の五を三にひ下二に三に
下二に三に引分一の下の二に三に引分五倍八の上下五を
上五を三にひ下二に三に引分七に三に引分の五を三にひ
下二に三に引分の八を三にひ下二に三に引分九の五を三にひ下二に三に
引分五倍六の上下五を三下二に三に引分六八四十八はたきの
十の五を三にひ下二に三に引分

○銀三百五十四匁八分二厘八毫△五百の八は割△六分九
本八合五匁あり

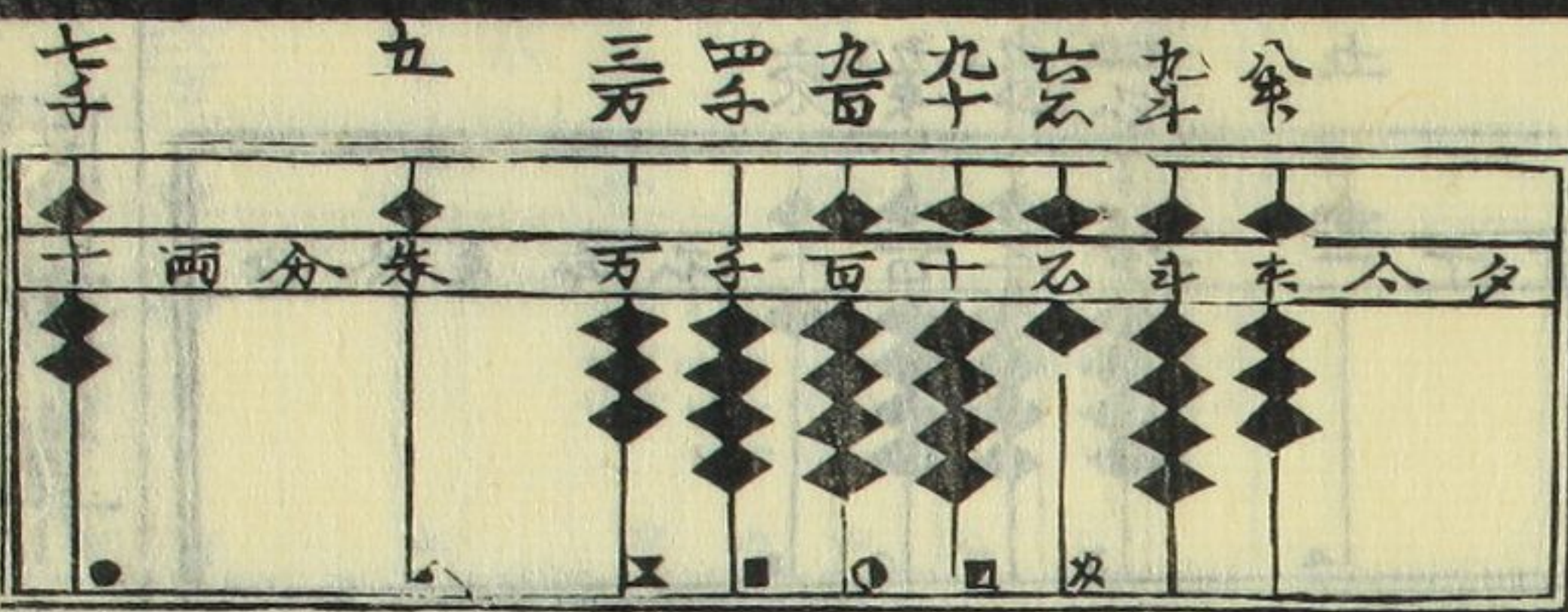
同掛算



○第九百八十八斗 △六千七百七十五合 △六百八十八斗
五石五斗あり

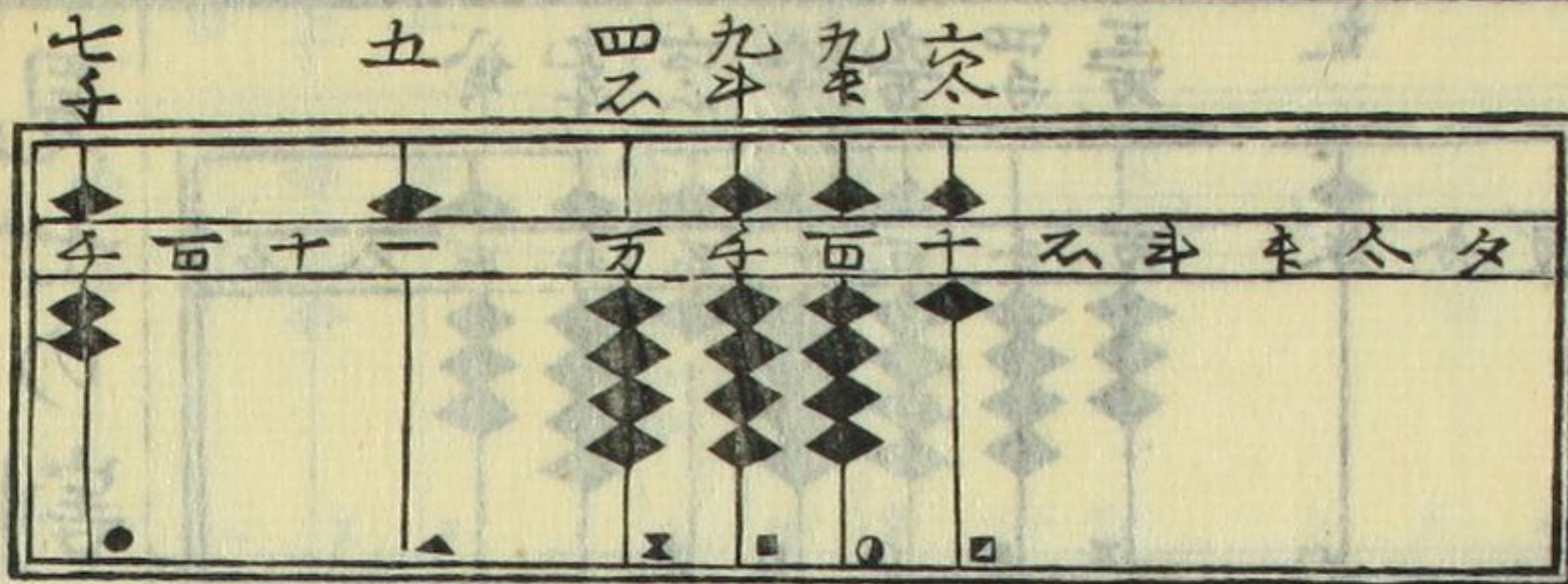
●五百二十斗の上(一斗) ●五百四十斗の上(一斗) ●五百六十斗の上(一斗) ●五百八十斗の上(一斗) ●六百斗の上(一斗) ●六百二十斗の上(一斗) ●六百四十斗の上(一斗) ●六百六十斗の上(一斗) ●六百八十斗の上(一斗) ●七百斗の上(一斗) ●七百二十斗の上(一斗) ●七百四十斗の上(一斗) ●七百六十斗の上(一斗) ●七百八十斗の上(一斗) ●八百斗の上(一斗) ●八百二十斗の上(一斗) ●八百四十斗の上(一斗) ●八百六十斗の上(一斗) ●八百八十斗の上(一斗) ●九百斗の上(一斗) ●九百二十斗の上(一斗) ●九百四十斗の上(一斗) ●九百六十斗の上(一斗) ●九百八十斗の上(一斗) ●千斗の上(一斗)

見七の割



下(一斗) ●五百二十斗の上(一斗) ●五百四十斗の上(一斗) ●五百六十斗の上(一斗) ●五百八十斗の上(一斗) ●六百斗の上(一斗) ●六百二十斗の上(一斗) ●六百四十斗の上(一斗) ●六百六十斗の上(一斗) ●六百八十斗の上(一斗) ●七百斗の上(一斗) ●七百二十斗の上(一斗) ●七百四十斗の上(一斗) ●七百六十斗の上(一斗) ●七百八十斗の上(一斗) ●八百斗の上(一斗) ●八百二十斗の上(一斗) ●八百四十斗の上(一斗) ●八百六十斗の上(一斗) ●八百八十斗の上(一斗) ●九百斗の上(一斗) ●九百二十斗の上(一斗) ●九百四十斗の上(一斗) ●九百六十斗の上(一斗) ●九百八十斗の上(一斗) ●千斗の上(一斗)

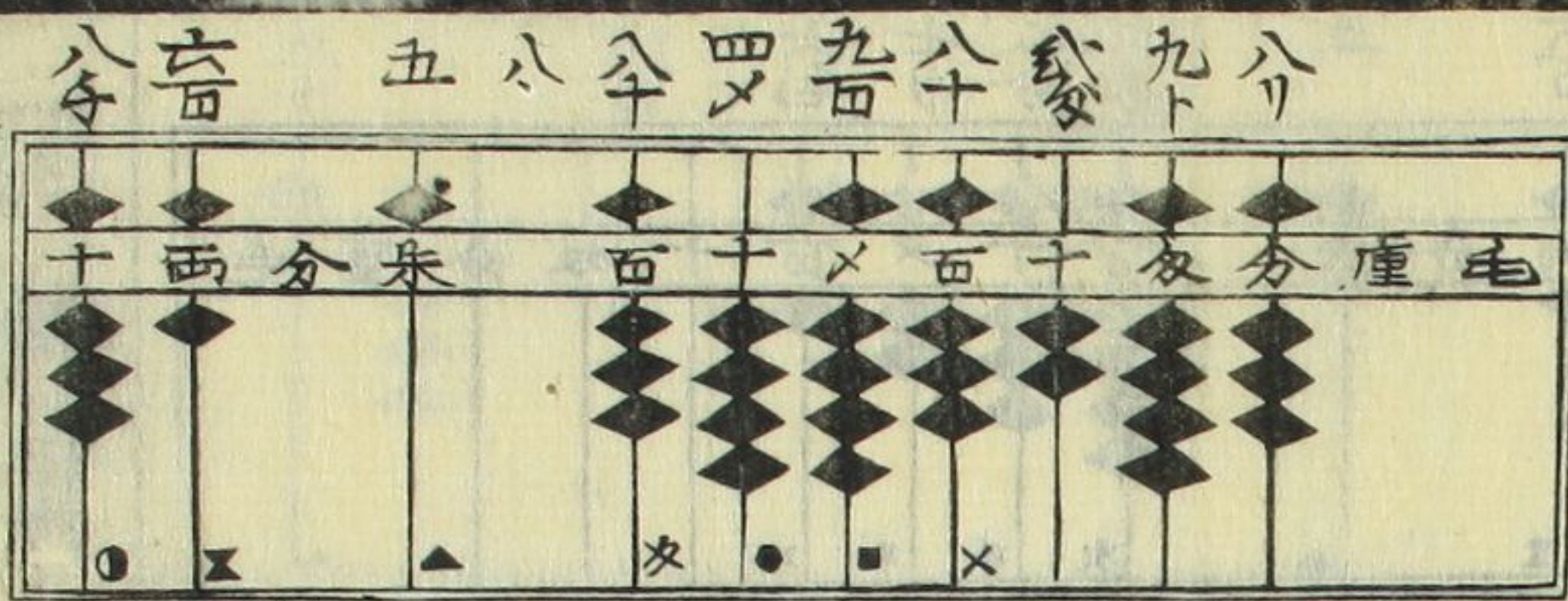
同掛算



○ 乘四九斗九斗六合△七子。○ 五合△二万四子
九百九十六九斗八斗七

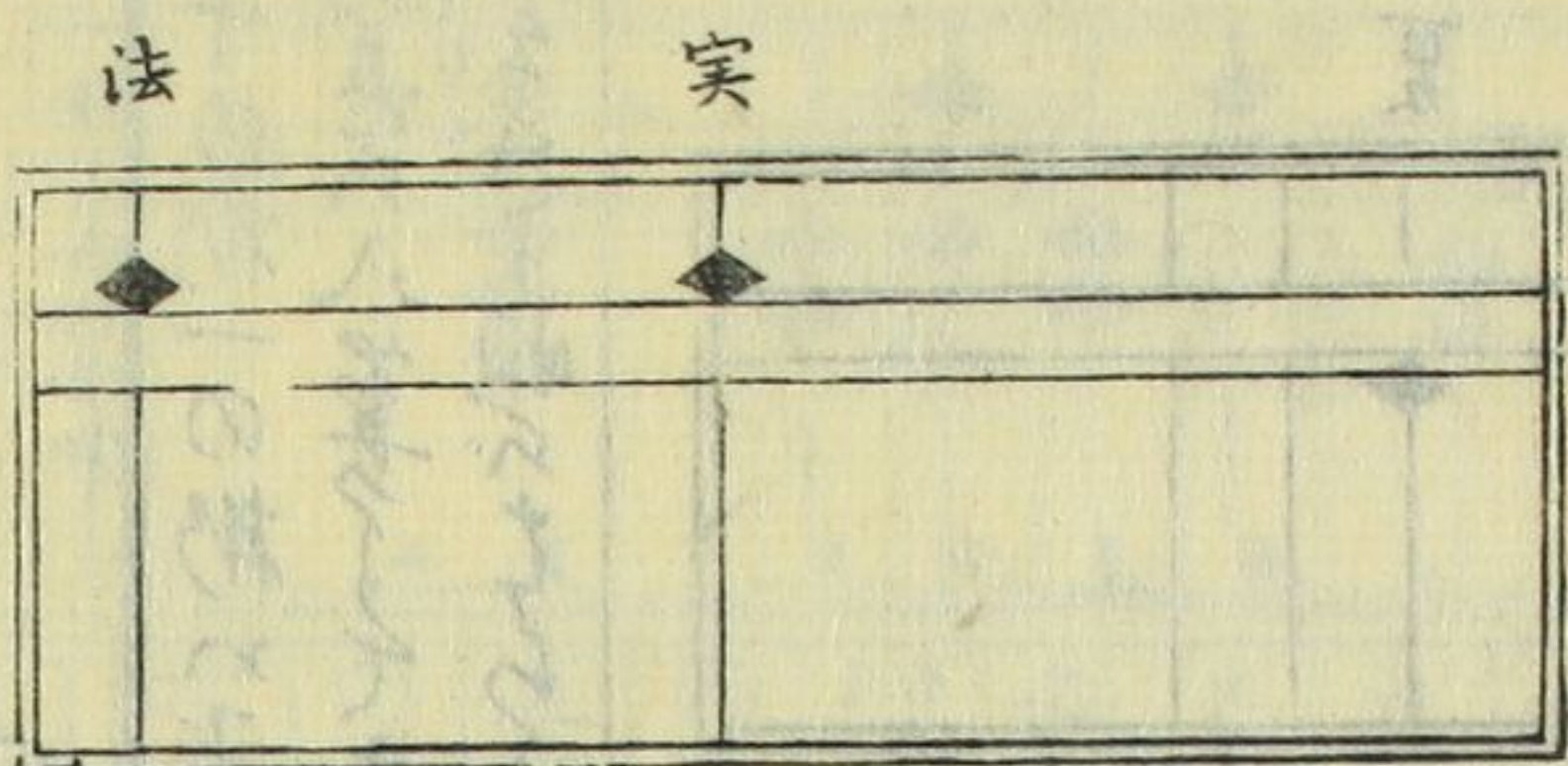
▲ 五六十斗の下の二とさる。六七四十二十の上の五を
らひ下二とさる。七の下二とさる。五九四十五斗の下の四
をさる。七の上五とさる。七九六十二百の下の二とさる。十の
下とさる。上五とさる。五九四十五斗の下の二とさる。上五
とさる。斗の上五とさる。七九六十二子の下の二とさる。百の
下二とさる。四五二十十の下の二とさる。四七二十八斗を
さる。十の下の二とさる。子の下の二とさる。上の五とさる。
万の下の二とさる。

見八の割

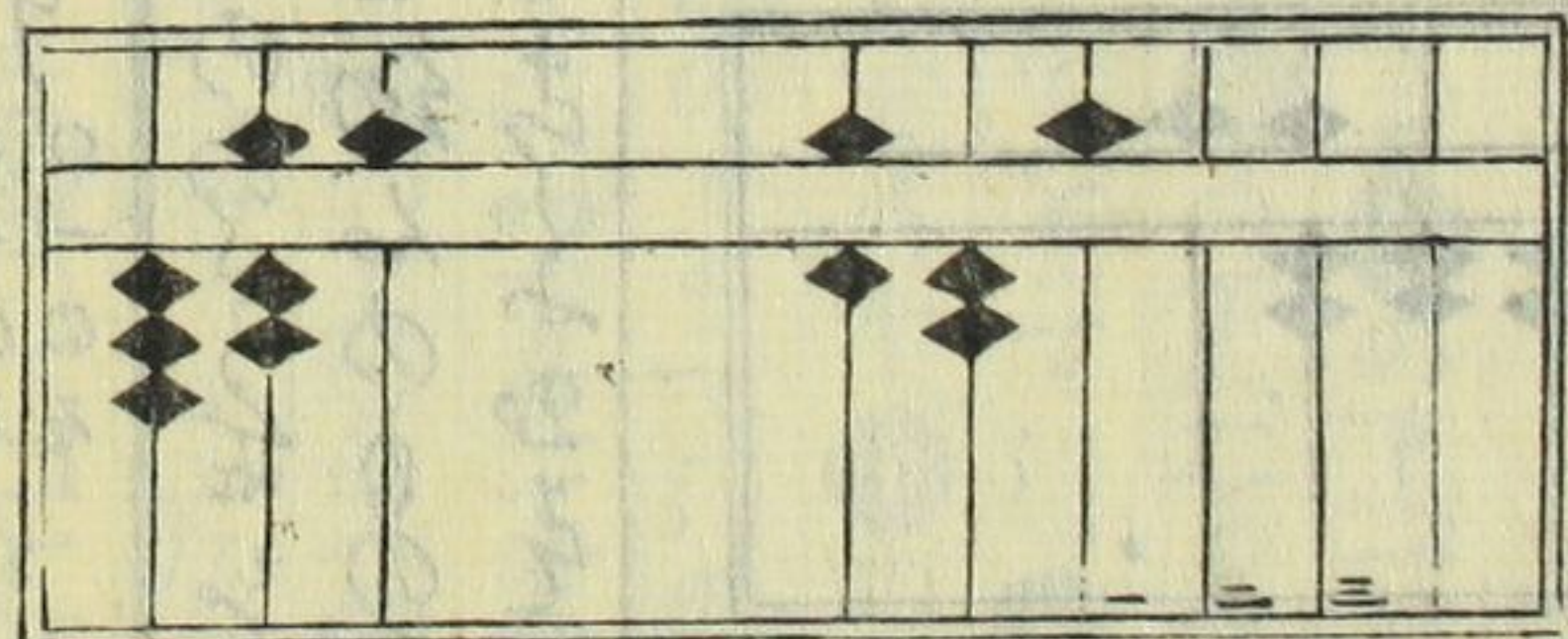


をさる。八の上とさる。五とさる。五とさる。十の二とさる。七
十の二の下の二とさる。十の下の二とさる。五とさる。十の
とさる。五七三十五斗の下の二とさる。分の五とさる。八とさ
る。百の下の二とさる。七とさる。百の下の二とさる。十の
五とさる。十の五とさる。ひ下二とさる。八とさる。十の下の二と
さる。八とさる。十の下の二とさる。百の二とさる。ひ上五とさる。
八の六とさる。十の下の二とさる。十の五とさる。ひ上五とさる。
五とさる。九とさる。五とさる。十の上五とさる。下とさる。十の
下とさる。六とさる。九とさる。十の上五とさる。下とさる。十の
下とさる。見八を以て九の八の下の二とさる。十の五とさる。八とさ
る。△九分八分七厘六毛也
○ 乘八十四貫九百八十文九分八厘△八子六白。五割

● かけの付いたとて法が三桁より実が一桁よりおとさるる物より一と
 二とのおとさるる二桁目と十の桁とを●実のいく桁あるとて●志まひ
 の桁より法の桁おとさるる十の桁とを●志まひ

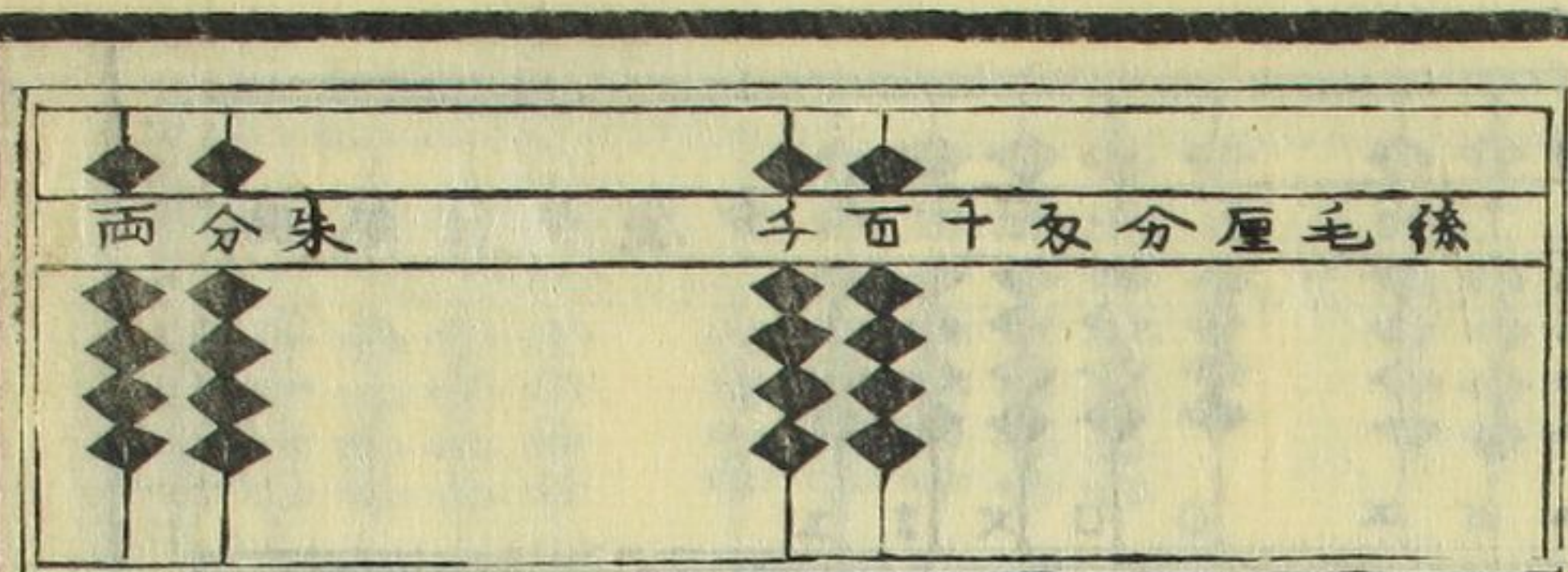


● 〇 五
 ● 五 二十

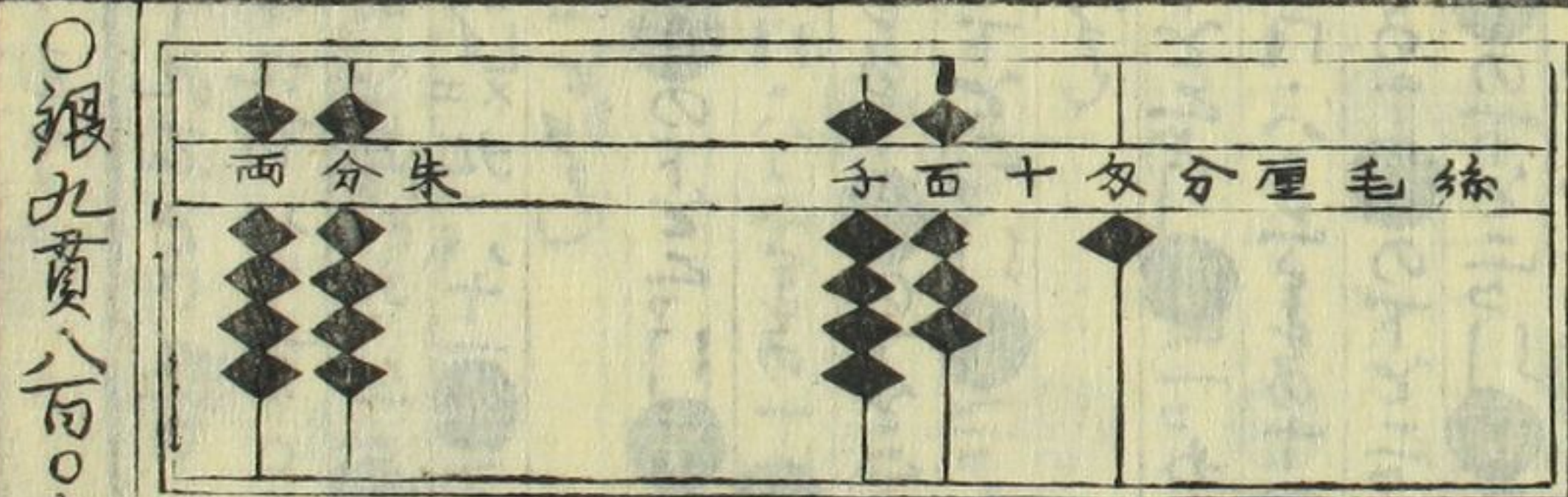


○ 九拾ひの桁かけり

○ 銀九拾九分を九十九とせり



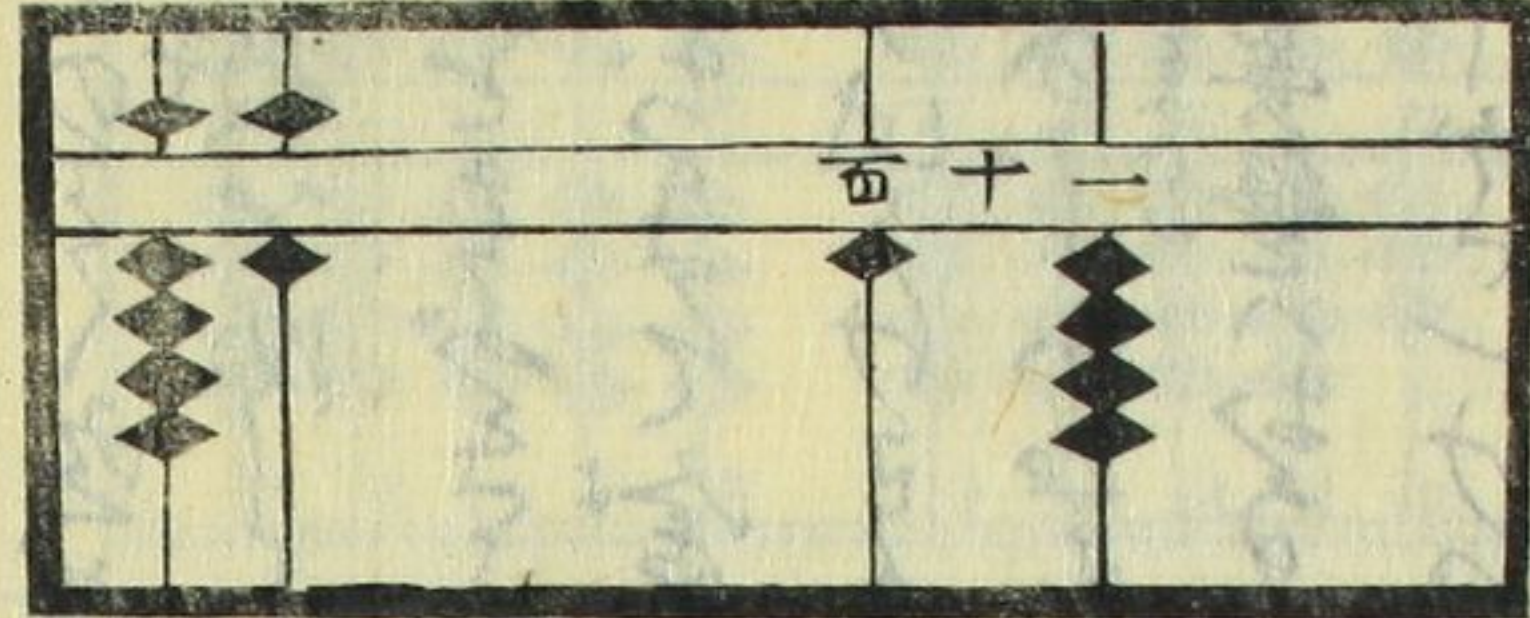
▲ 九十八十一(十)の
 一(一)をさし九十八
 一(十)の下と一(十)の
 下(一)を加し九十八
 八(二)をさすの十(百)の
 下(一)と一(十)の下(一)
 と加し九十八(十)の十
 (十)の九(十)と一(百)に
 を加し九十八(十)の下
 と一(十)と一(十)を加さる



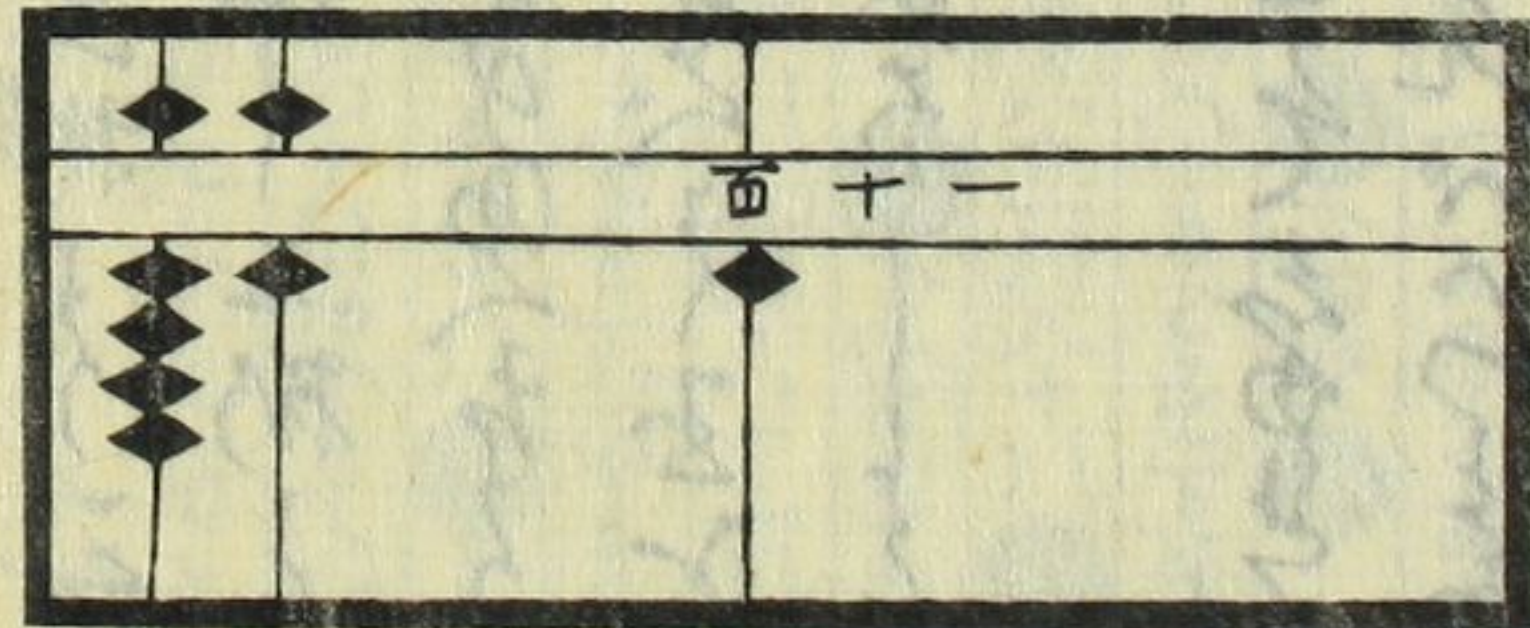
○ 銀九貫八百〇を分と九十九とせり
 あり
 らひ(十)の二(十)をさす
 八十一(十)と十(十)の八(十)を
 一(十)と一(十)を加し九
 十(十)と十(十)の下(十)
 九(十)と十(十)を加下(十)
 八十一(十)の九(十)と十(十)
 の十(十)と十(十)を加さる

〇九六かけりのり

百と百と千とを丁辨とひ九十六文を百と千とを辨辨とひの省辨毎判の百と
も十文以下ハ丁辨ハ省辨ハ日るうけりあ九十六とかけて丁辨を省辨をさしりあ
たると省辨二ハ百文以下あり出さると廿五日る付九十六とかけると二ハ文とあつた
九とる百文とあつたと省辨は百と九と日る百文以下とあつたのり百と九と
但し三百九十六とかけり。百文以下ハ百と日る九ととかけり。



かけ
省辨百。四文
▲一六二
四のろり
一六二
一たきの十



丁辨百文
四のろり
▲九一七下一
省辨百と
調辨百と
りり

〇永辨のり 永にたはるの真名あり

永辨百或十文	合或兼	日	七百六十文	合	三
日	或百六十文	合或分	日	ハ百七十文	合或兼
日	三百七十文	合或兼	日	六	文合兼
日	六百文	合或分	日	拾	文合兼
日	六百或十文	合或分兼	日	百	文合百

金ハ永に連して日るかけはさるのり日るを合と辨は連して六と日る
 日るはたるとハ金と分ハ十と分とあつたて日る或百六十とあるを
 ハ六十とある日るを分とある。永と辨は十と日る。永と辨は十と日る
 永と分ハ日のお勘を永の辨と日る。永と辨は十と日る。永と分ハ日のお勘と
 かけりあり

但し永に連して永に辨は日る。永と分ハ日るを永と入る。

○大數の各目

一・十・百・千・万・十百千・億
十百千
兆・京・垓・秭・穰・溝・澗・正・載・極
上略

○小數の各目

分・釐・毫・絲・忽・微・纖・沙・塵
埃下略

埃
下略

○穀數の各目

斛・斗・升・合・勺・抄・撮・圭・粟

○一の數の各目

金の一兩・鈔の一匁・銀の一匁・升の一斛・石の一斗

担
メノ千七

○位取の傳

○除

法の止りの桁より一桁上を一の位と定む

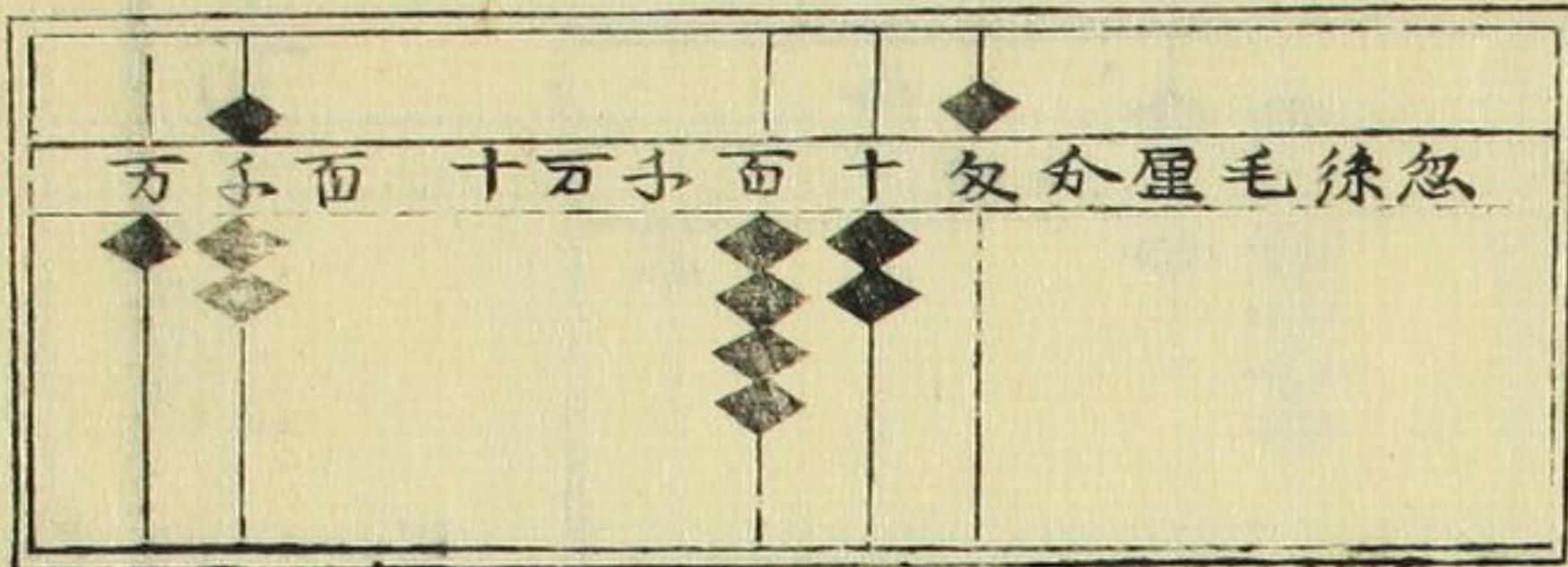
法の止りの桁より一の位を一の位と定む
法の止りの桁より一の位を一の位と定む
法の止りの桁より一の位を一の位と定む
法の止りの桁より一の位を一の位と定む
法の止りの桁より一の位を一の位と定む

○乘

一までかぞへり一の下の桁を法の位と定む

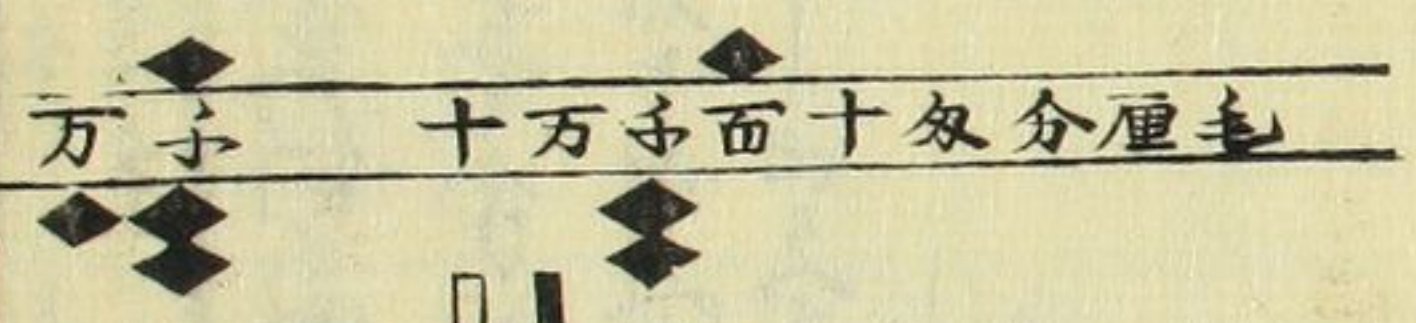
一までかぞへり一の下の桁を法の位と定む
一までかぞへり一の下の桁を法の位と定む
一までかぞへり一の下の桁を法の位と定む
一までかぞへり一の下の桁を法の位と定む
一までかぞへり一の下の桁を法の位と定む

凡位取の位は...
初等の位は...
場よりてかんぐある...
場よりてかんぐある...
場よりてかんぐある...



〇

五七三十九
 五進が五十
 二七十九
 二進が二十

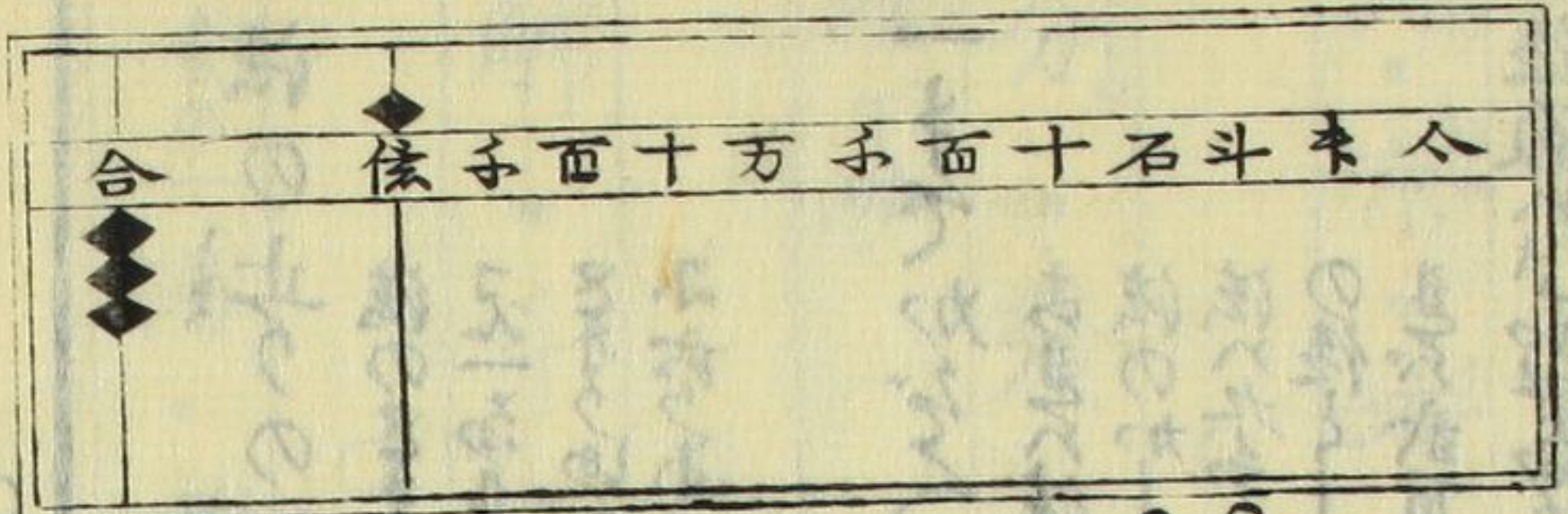


一厘毛

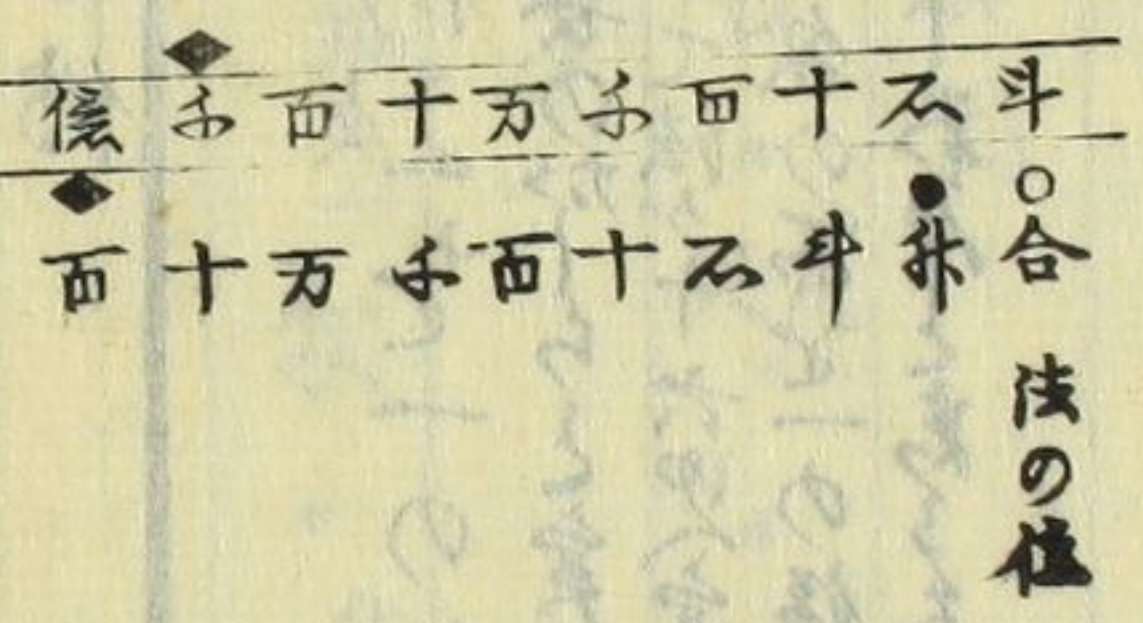
○紙壹万七千枚買代銀四百廿五匁
 一枚代何程と同
 海に百廿五匁を一万七千より

○小數の位取

法の位の平



三五十五



百五十万石

五俵へ三合をうけ

○人數に係あり老若男女平均三合宛り
 石高何程と同

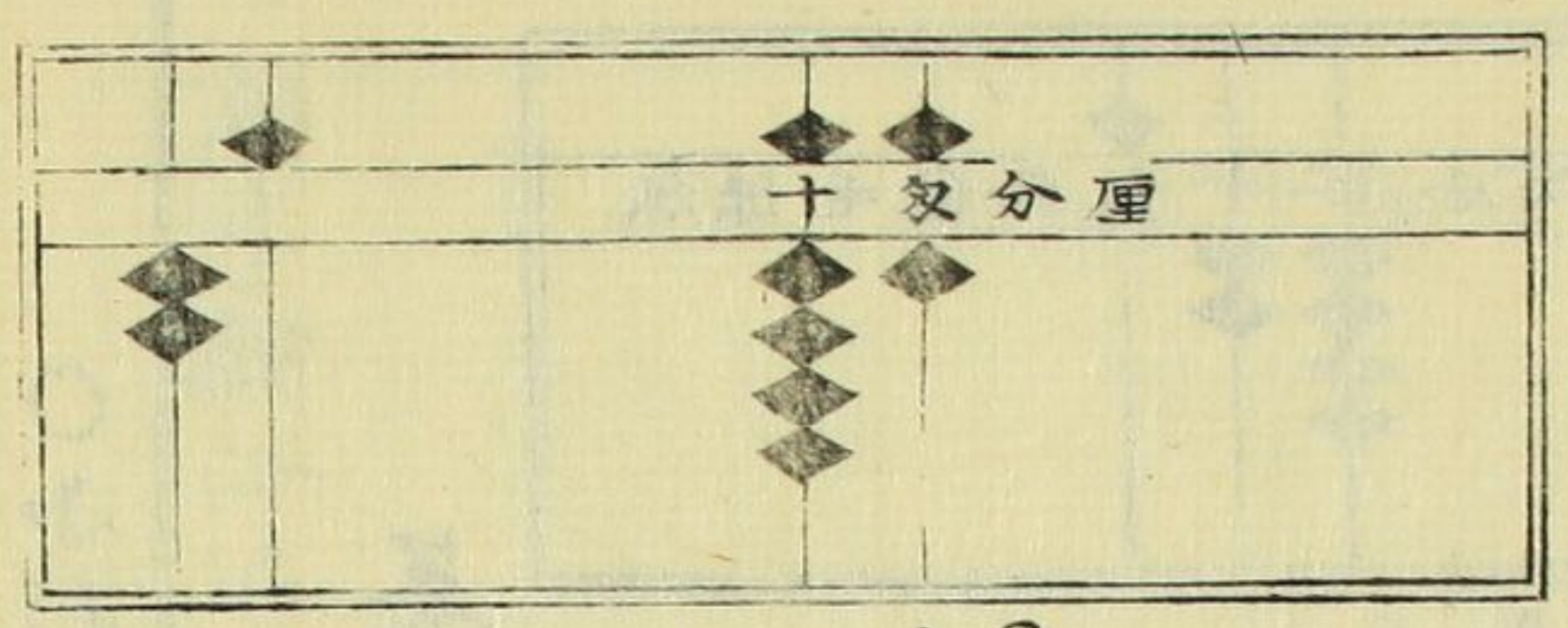
○大數の位取
 一の平
 法の位の平

○二階の位取
 ●一の下の
 ○法の位の下の
 ▭法の止りの下の
 ▭一の位の下の

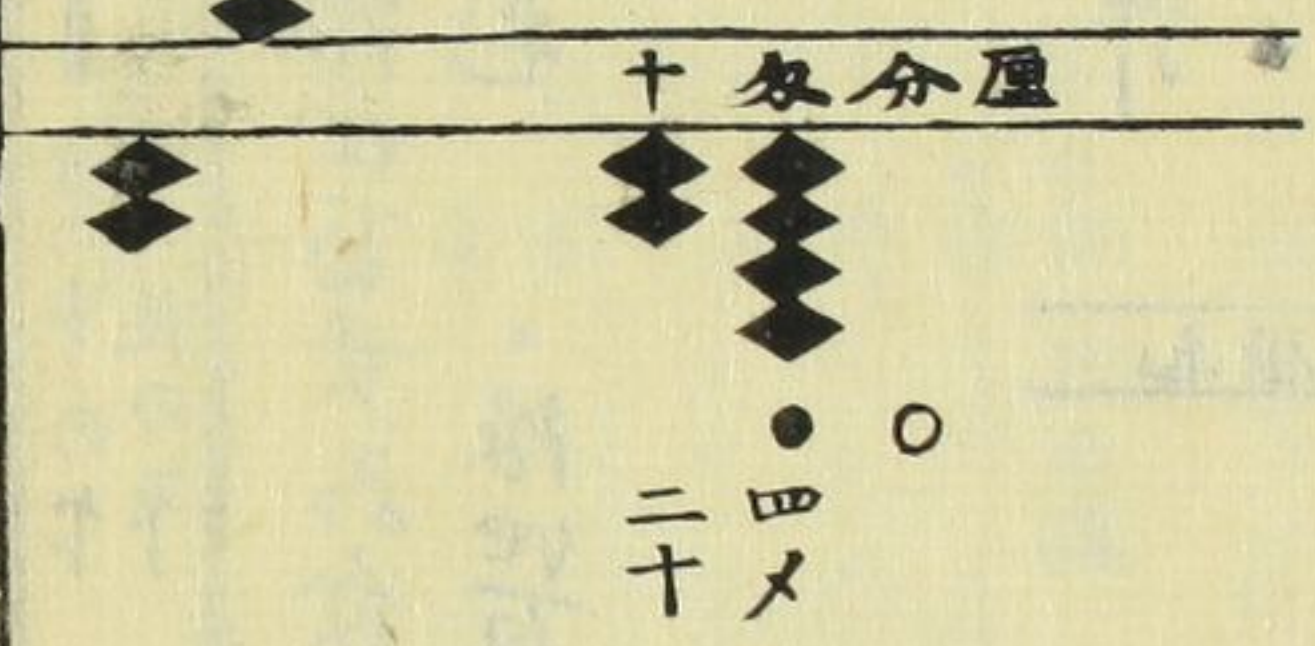
○百文の付一ヶ月四文の質利の金何支と分ちと出ると問

答金六支の付壹分也

・丁銀九十文と壹・永銀百五十と分ちて
 算し一四と分ちて割



五六三十二
 二六十二
 五九四十二
 五二カ
 十カ
 二九十八
 子二カ
 其の上



二十



百十一

・五ハメカリ
 ▲四進が二十
 ▲四二天化の五

○二階の位取
 ●一の下の
 ○法の位の下の
 ▭法の止りの下の
 ▭一の位の下の

○陳皮之斤

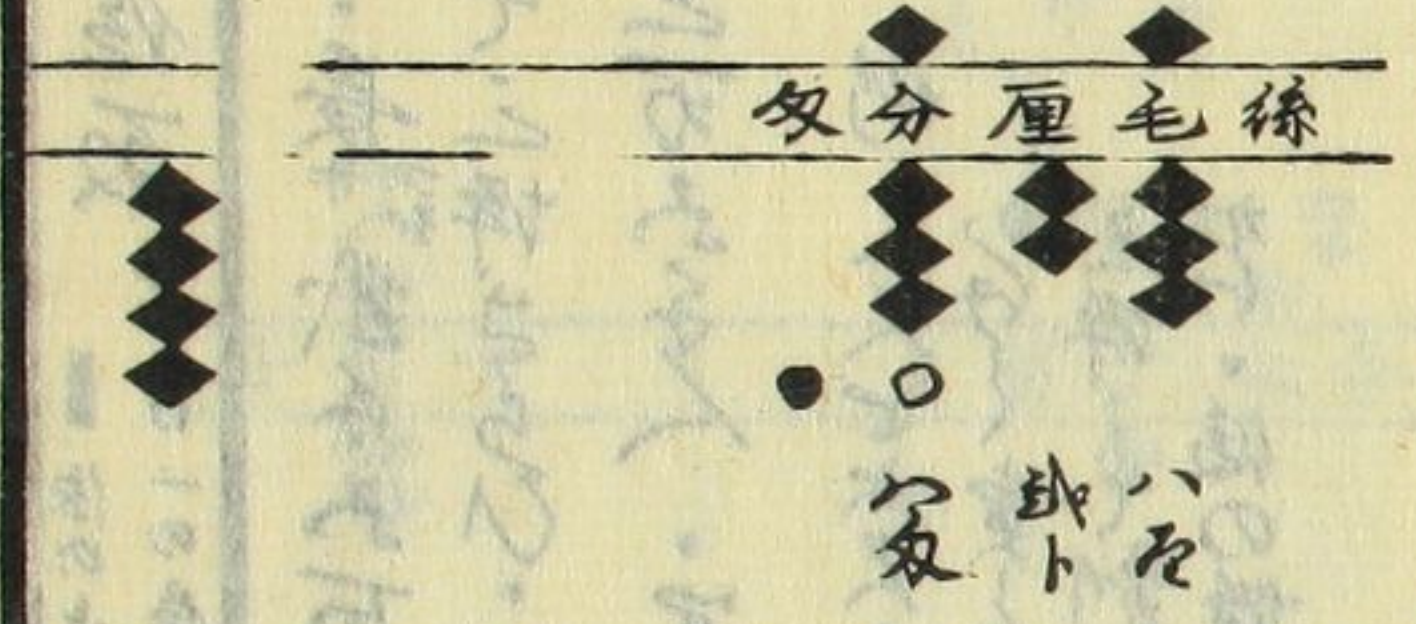
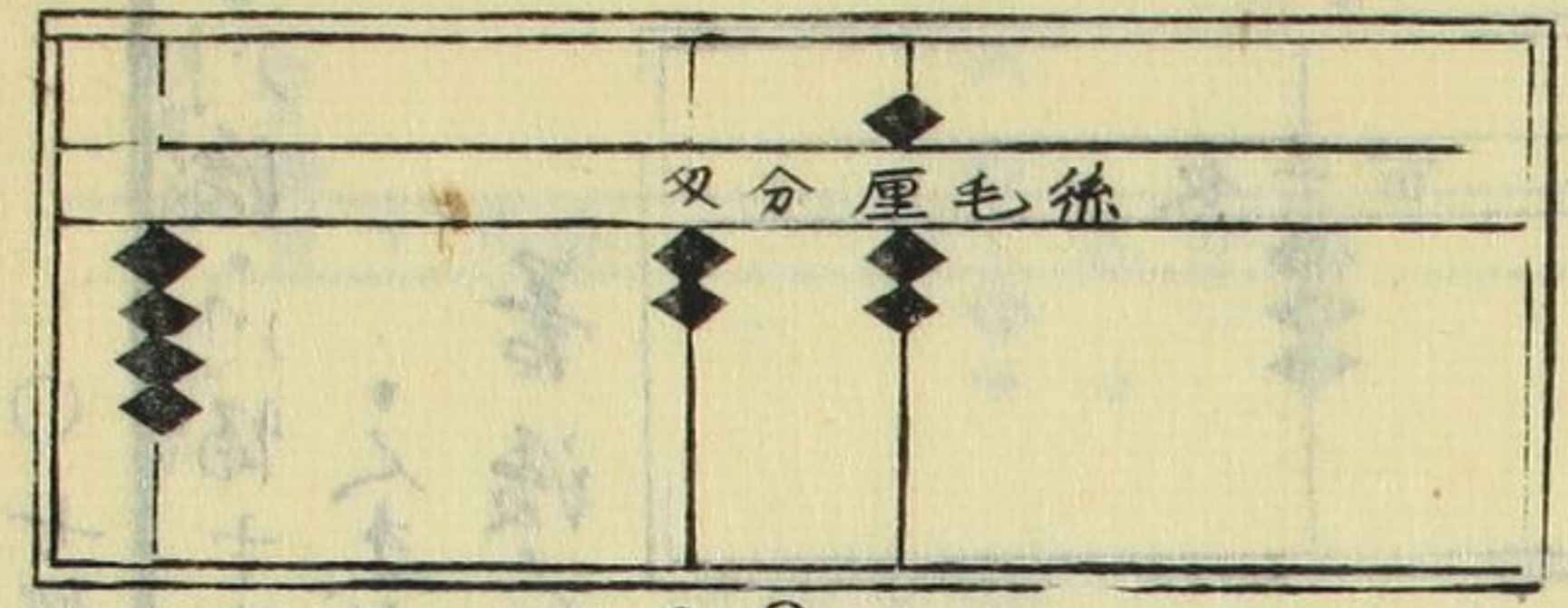
一斤銀百二十目

代銀貳分七厘の時

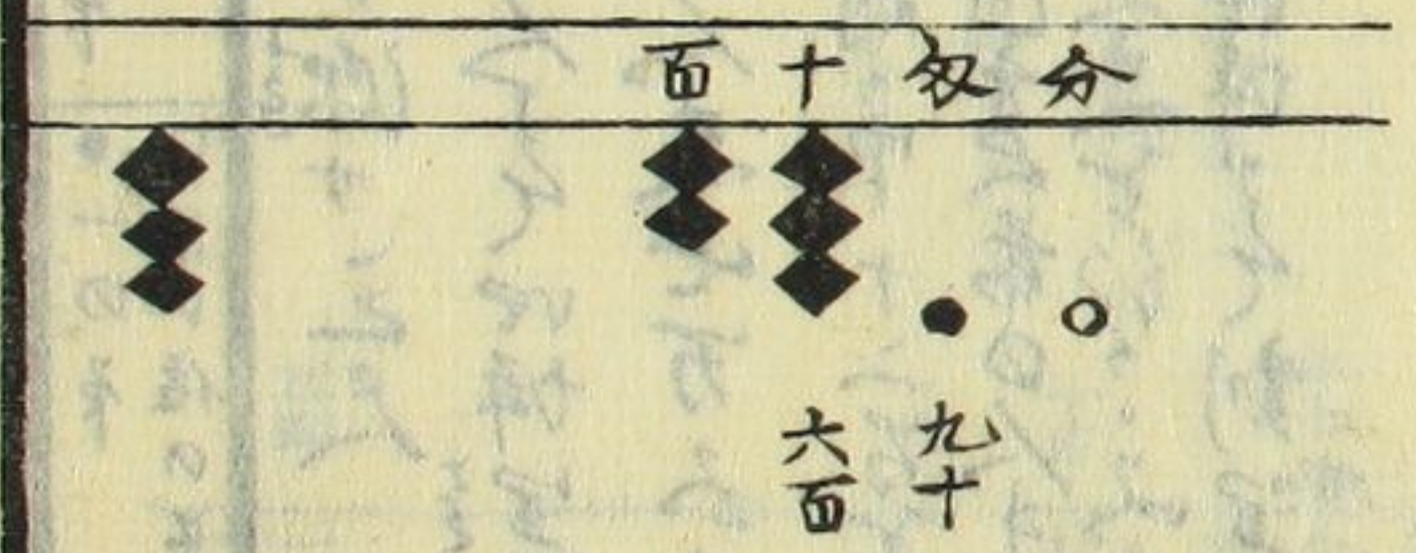
壹百目の代行銀と同

答 壹百貳毛

代銀貳分七厘と壹を百目の代銀と分ちて
 算す其の代銀百二十目と分ちて法にして算すと



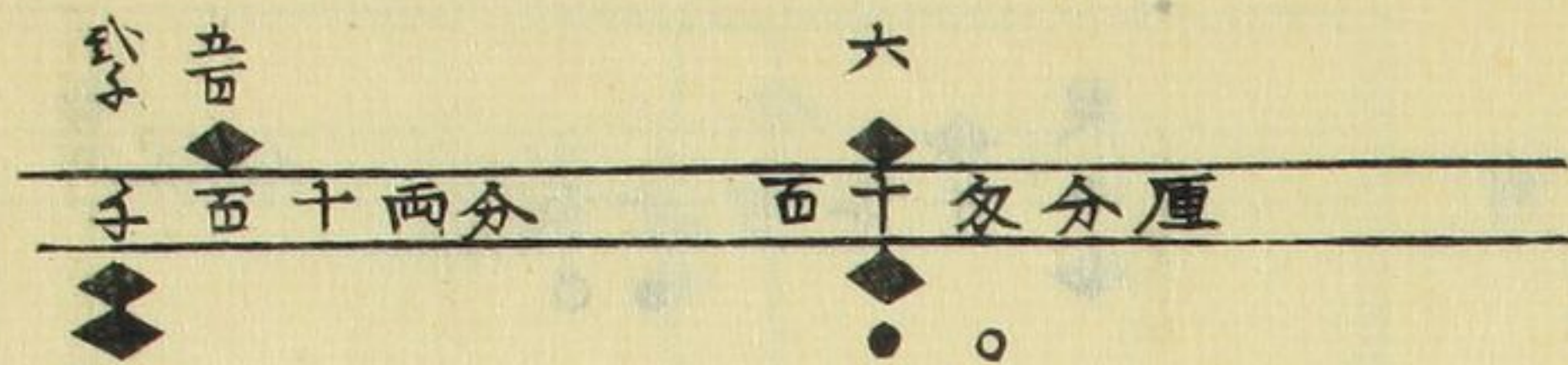
八カ
 七ト
 八



九十
 六百



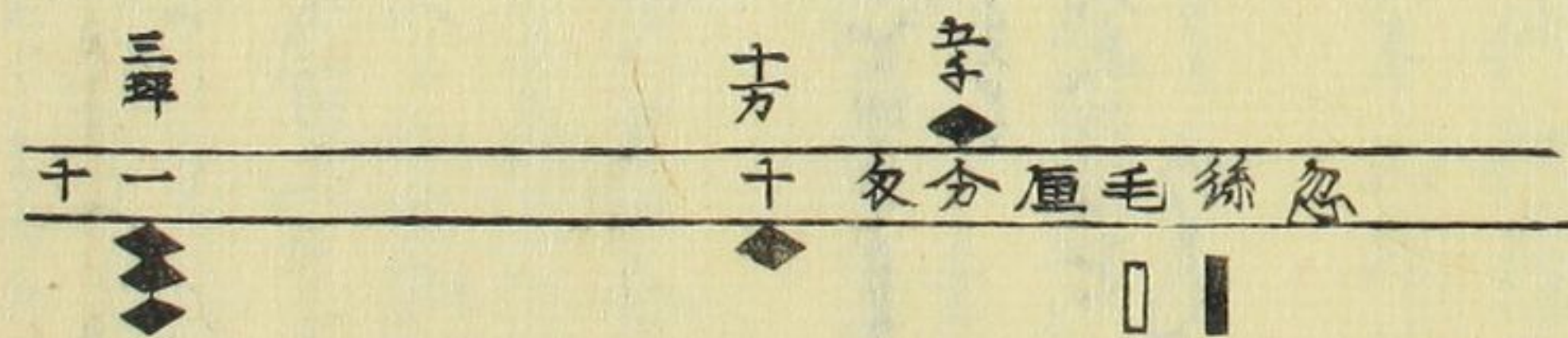
二九十八
 五二カ
 十カ
 二九十八
 子二カ
 其の上



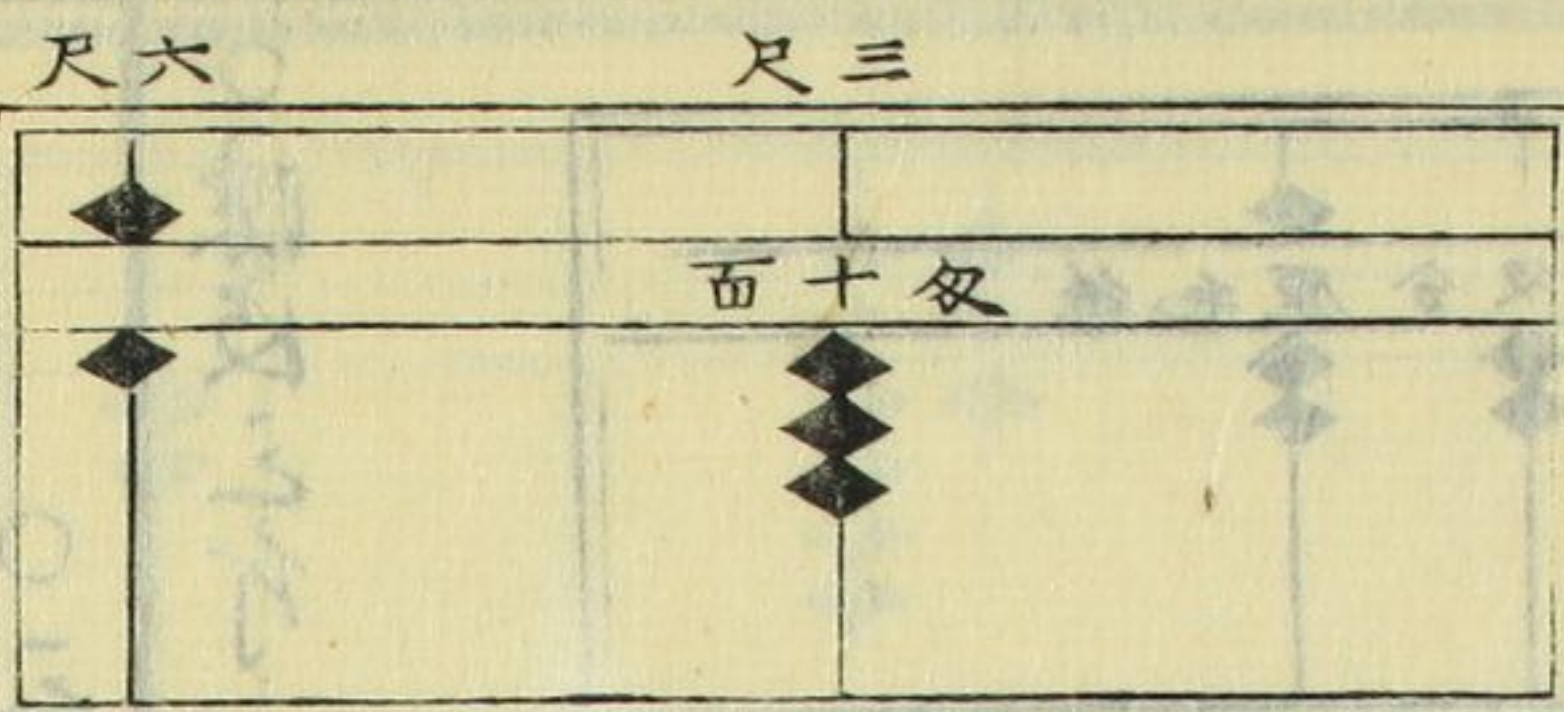
△は五人の子
六百と五分
一万五千と
五分



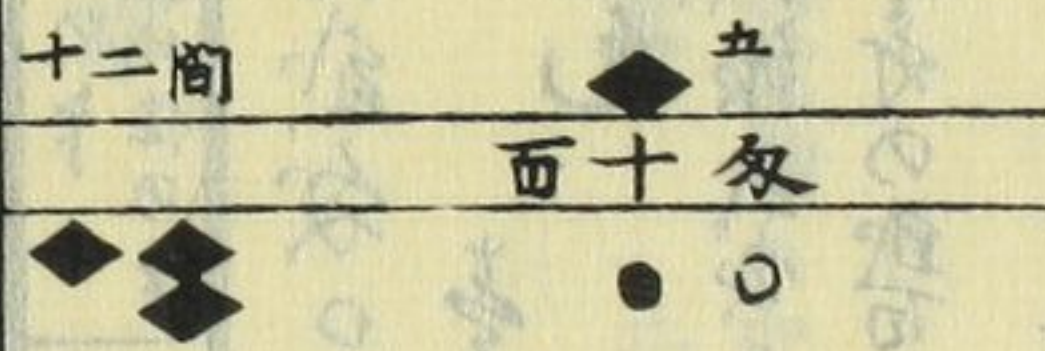
△は二万五千
七と五分
十方と五分
と五分



△は十方と五分
三と五分
三万五千と五分
と五分
●は五人の子
五と五分



△幼の倍
□と一
一万八千と五分
の倍
尺の倍
五と五分

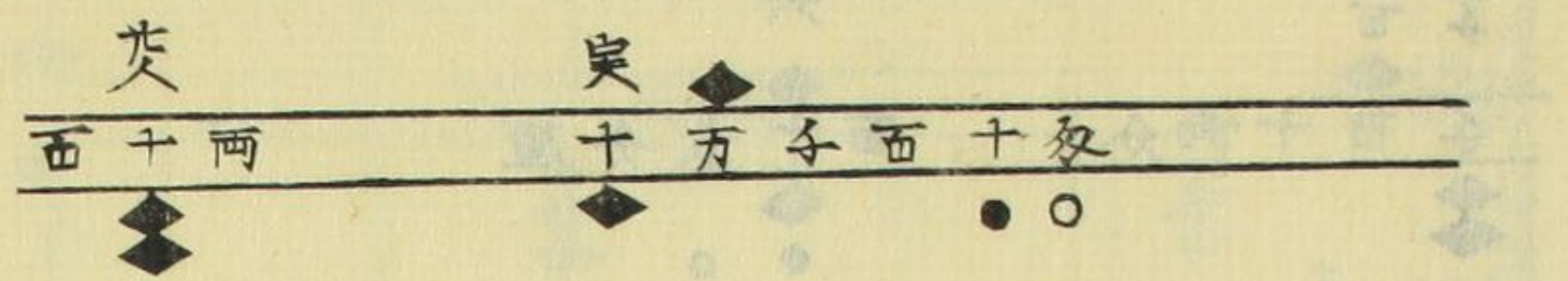


△五寸と五分
五と五分
五と五分
五と五分

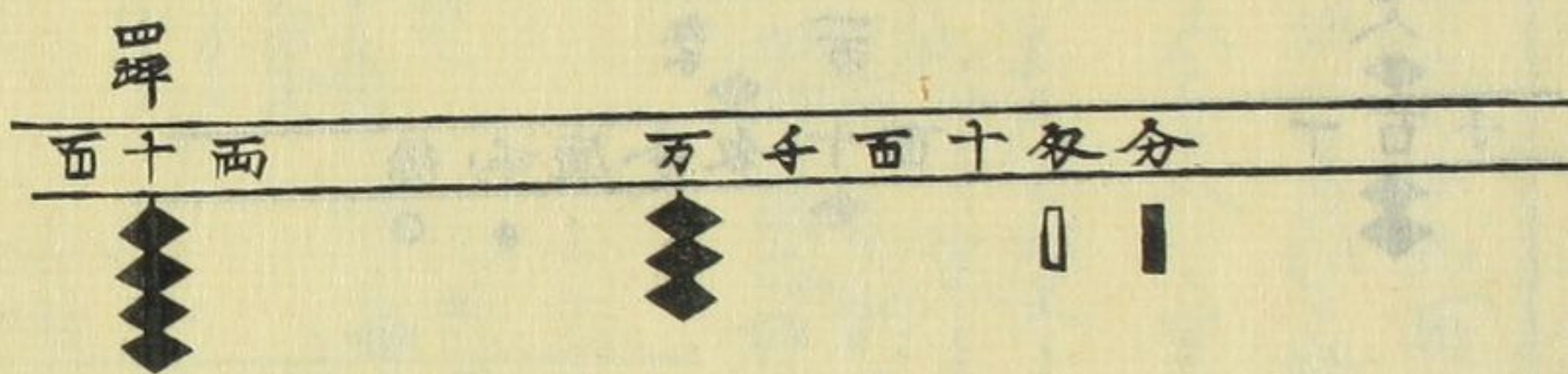
○川後・川幅十間・長さ五尺子百間・深サ二尺

著活人丈三万六千人・宜び人丈七万六千人
●一の位の尺
○法の位の尺

△三尺と六尺と刻・巾十二間とけ・又長さ五尺子百間と
かけく算とをよ・は長さ五尺の人丈七人とけ・第の坪数
三坪と刻活人丈とけ・又長さ五尺の人丈十人
かけ・後の坪数四坪と刻宜び人丈とけ



▲廿万きり
二十とろひ
二十万と

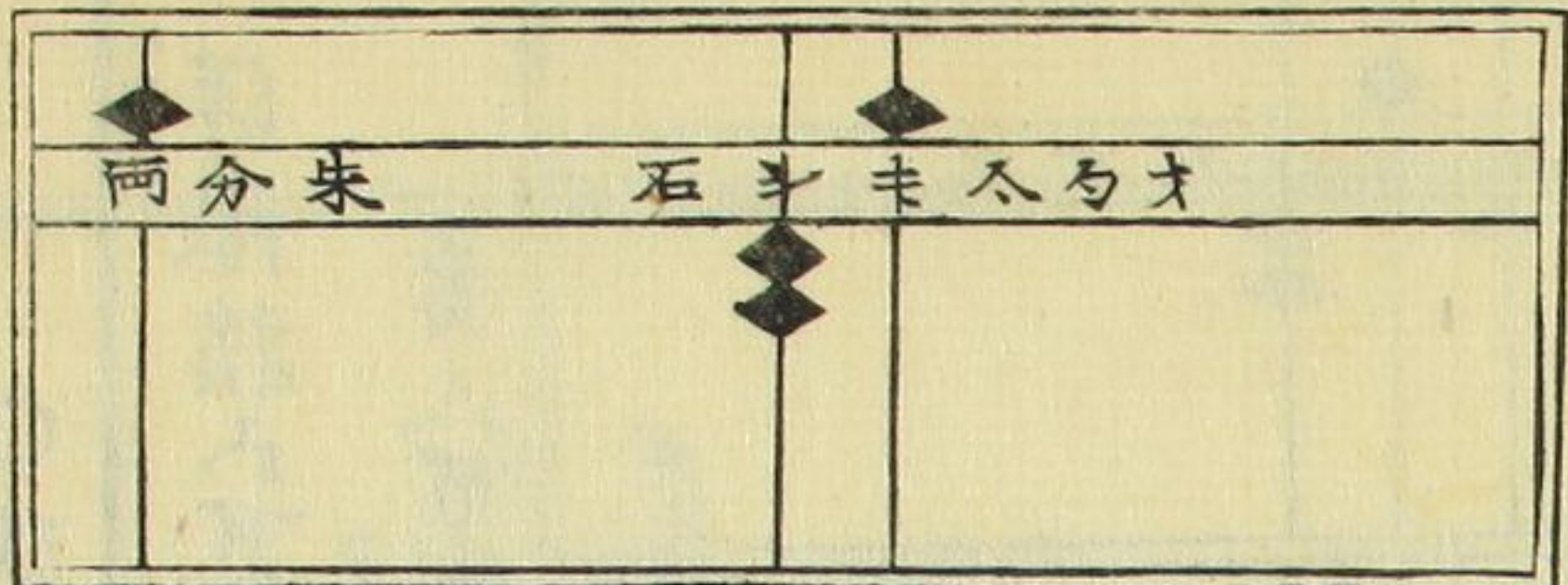


▲廿二万と四とろひ
十万とろひ
なまびんまの数を
わらへ

○ 初めの位取

法の止り
一の位

○ 百文は白米を合して今或斗を秤の代何種と同
答ぬ費文



五進が十
五二あるは

○ け位取の法のとまうの二棚上せ一の位と千と付
合の上が石の位ふあはふ十とろひと秤の音
目と位取の法とまうと見合せかか
て位とまうのこまうとまうと算初め位と
わらへ

○ さて法がふ合ゆか一の位の棚が法のとまう
わらへが一のけとまう一の位とまう

○ 法のふ合ひ百文とふ合ゆか一の位とまう
五とてふ合ひ百文とまう

○ 算の一の位とまうは法とあるが、一の
の二とてふ合ひ百文とまうは法とあるが、一の
位とまうは法とあるが、一の位とまうは法とあるが、
一の位の位とまうは法とあるが、一の位とまうは法とあるが、

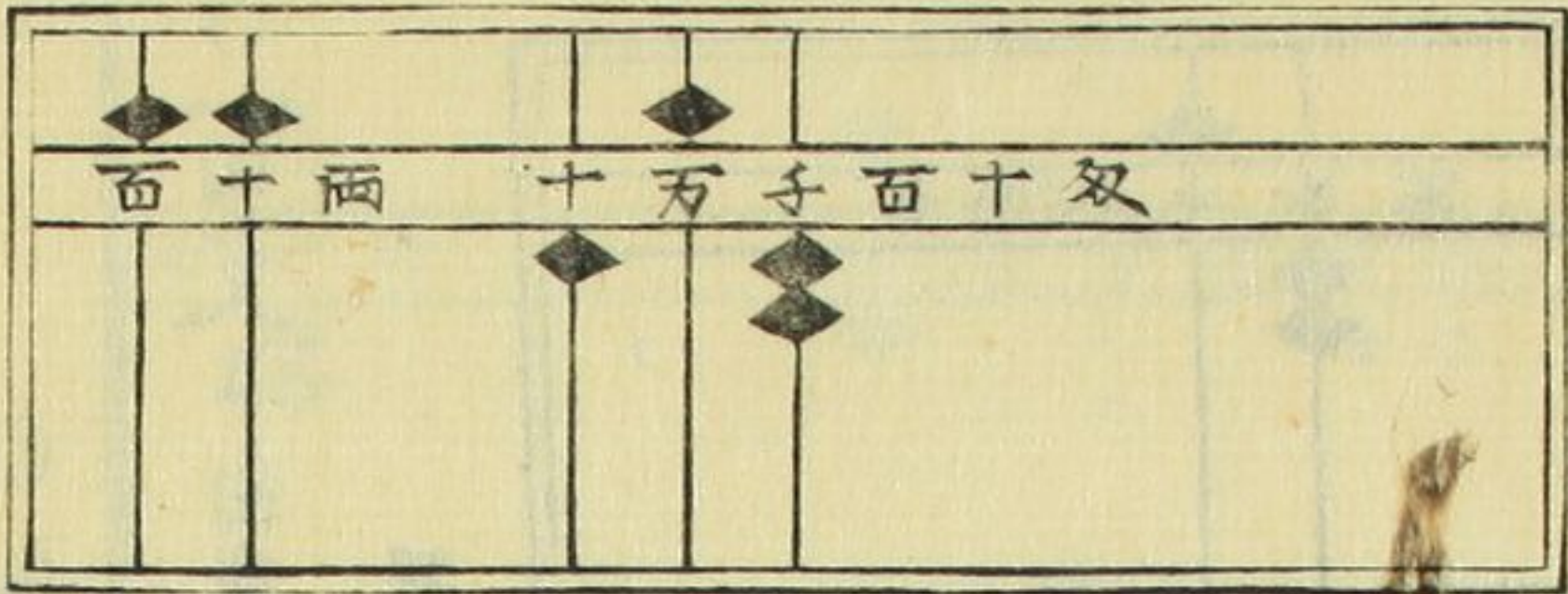
○ 附子の位取

子の浦而よりいひ・日くりけとす法のからと相安
の命を正とすはふその位は國由なり

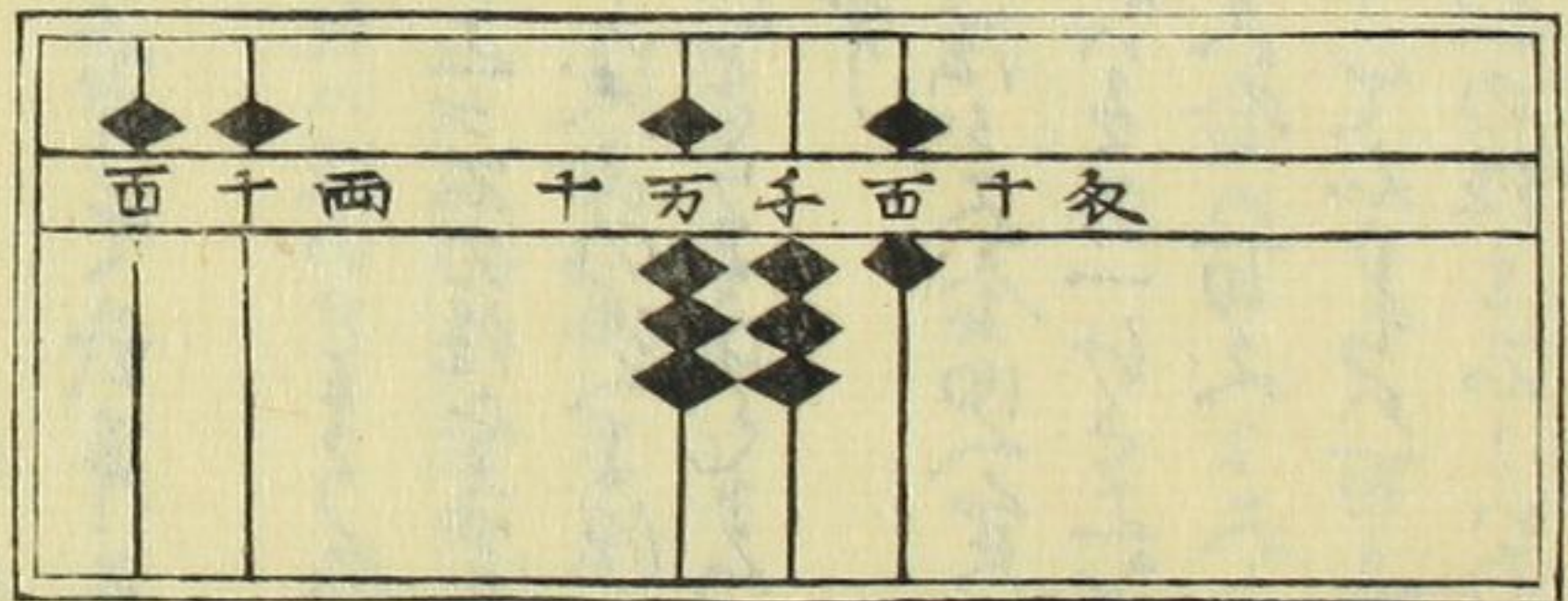
○ 洋銀指す万部子扱あり

二十二年之改替して合する位取あり

二十二年之改替して合する位取あり



法の位



法の位

○ 金八万之子六百匁

洋銀指す万部子扱

二十二年之改替して合する位取あり

西京書林

大坂書林

村上 勘兵衛

勝村 治右衛門

出雲寺 文次郎

田中 治兵衛

秋田屋 太右衛門

秋田屋 市兵衛

河内屋 茂兵衛

河内屋 喜兵衛

伊丹屋 善兵衛

東

京

須原屋茂兵衛	山城屋佐兵衛	小林新兵衛	須原屋佐助	須原屋伊八	和泉屋吉兵衛	和泉屋善兵衛	岡田屋嘉七	和泉屋市兵衛	内野屋彌平次
--------	--------	-------	-------	-------	--------	--------	-------	--------	--------

書

物

和泉屋金右衛門	出雲寺萬次郎	岡村屋庄助	雁金屋清吉	鈴木喜右衛門	藤岡屋慶次郎	和泉屋勘右衛門	山城屋政吉	丁子屋平兵衛	椀屋喜兵衛
---------	--------	-------	-------	--------	--------	---------	-------	--------	-------

問

屋

尾州名護屋

萬屋忠藏

三田屋喜八

山口屋藤兵衛

森屋治兵衛

紀伊國屋源兵衛

紀伊國屋梅次郎

鶴屋喜右衛門

若林喜兵衛

永樂屋東四郎

永樂屋和助

明治五壬申五月刻成

田春樓藏板



日本橋四日市

和泉屋半兵衛

